



PORTATONE

PSR-170

取扱説明書



BASS BOOST SYSTEM



ごあいさつ

このたびはヤマハポータートーンPSR-170をお買いもめいただき、まことにありがとうございます。PSR-170のさまざまな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、読み終わったあとも、保証書とともに大切に保管して、操作のしかたがわからないときにお読みください。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。




ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

警告

電源 / 電源アダプター



電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターを使用する場合は、必ず指定のもの
(PA-3BまたはPA-3C)を使用する。
(異なった電源アダプターを使用すると)故障、発熱、
火災などの原因になります。

必ず実行



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを
きれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、
無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

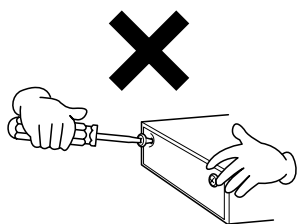
禁止

分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。
異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。

禁止



水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。
感電や火災、または故障の原因になります。

禁止



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

禁止

火に注意



本体の上ろうそくなど火気のあるものを置かない。
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

禁止

異常に気づいたら



必ず実行

電源アダプターコード / プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。)
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

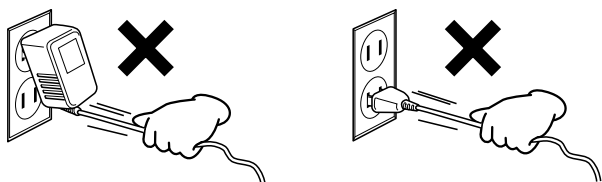
⚠ 注意

電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



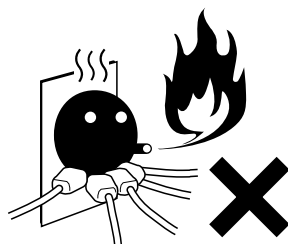
必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電や火災、故障の原因になることがあります。



禁止

たこ足配線をしない。音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



乾電池



必ず実行

乾電池はすべて + / - の極性表示どおりに正しく入れる。正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。



必ず実行

乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なるもの（アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど）を一緒に使用しない。発熱、火災、液漏れの原因になります。



禁止

乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入れると破裂するおそれがあります。



禁止

使い切りタイプの乾電池は、充電しない。充電すると液漏れや破裂の原因になります。



必ず実行

長時間使用しない場合や乾電池を使い切った場合は、乾電池を本体から抜いておく。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



禁止

乾電池は子供の手の届くところに置かない。お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。失明や化学やけどなどのおそれがあります。

設置



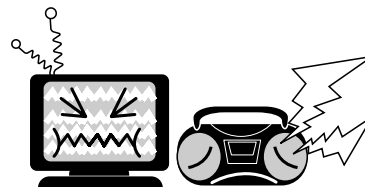
禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しない。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



禁止

不安定な場所に置かない。本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

必ず実行

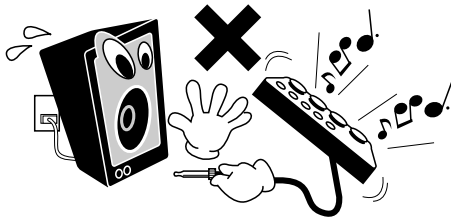
接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。

感電または機器の損傷の原因になることがあります。



手入れ



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。
本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

使用時の注意



ご注意ください

本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネルや鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。
本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

電源アダプターをご使用の場合、電源スイッチを切った状態（電源スイッチが「STANDBY」の状態）でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。

PSR-170の特長



楽しいレッスン機能(Yamaha Education Suite 2)
弾きたい曲(ソング)を選び、レッスン機能を使ってマスターしましょう。

レッスン..... 36ページ

右手、左手それぞれ3ステップの練習方法と、両手の練習があります。

ディクショナリー..... 47ページ

和音の押さえかたを教えてください。

採点..... 41ページ

レッスン機能を使用したとき、あなたの演奏を4段階で採点してくれます。
また、音声ガイドにより、採点結果を音声でも知らせてくれます。



グランドピアノ..... 23ページ

ボタン1つで、楽器・伴奏などがピアノ演奏に適した設定に切り替わる機能です。



DJ..... 26ページ

ダンスやハウス系の伴奏に合わせて、スクラッチなど色々な効果音を出して遊ぶことができます。

高音質、バラエティ豊かな100音色(ドラムキット含む)。最大同時発音数16。

いろいろな音楽ジャンルの演奏が楽しめる100の伴奏機能。

パネルの設定状態、コードやメロディ表示を一目で確認できる大型液晶ディスプレイ。

パーソナルコンピューターやMIDI対応機器とPSR-170を接続して、MIDIデータのやりとりをすることができます。

自分の感覚でテンポの設定ができるタップテンポ機能。

人の声で、機能や状態を教えてくださいの音声ガイド機能。

いろいろな効果音を出して遊ぶことのできるマルチパッド。

音楽を楽しむエチケット



これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

もくじ

演奏の準備 8

電源の準備	8
ヘッドフォン/外部出力端子について	9
サステイン端子について	9
MIDI端子について	9

各部の名称 10

早見表

ステップ1 楽器	12
グランドピアノの音で弾いてみましょう	12
いろいろな音色で弾いてみましょう	13
DJで遊んでみましょう	13
ステップ2 ソング	14
ソングを鳴らしましょう	14
ステップ3 伴奏	16
伴奏を使って演奏しましょう	16
コードを調べよう(ディクショナリー)	17
ステップ4 レッスン	18
レッスン機能を使ってみましょう	18

基本的な操作方法とディスプレイの見かた 20

楽器(音色)を選ぶには... 23

グランドピアノで弾く	23
メトロノーム	23
メトロノームの拍子設定	24
メトロノーム音量の調整	24
テンポの設定	24
楽器を選ぶ	25
DJで遊ぶには	26
ソングや伴奏に最適な楽器を選ぶ (ワンタッチセッティング)	28
トランスポーズ	29
チューニング	30

ソングを聞くには... 31

5曲のデモソングを連続して聞くには	31
100曲のソングから一曲を選んで聞くには	31
テンポの設定	32
メロディ音色の変更	32
テンポの調整	33
タップ機能	33
ソング音量	34
ソングコントロール	34
くり返し練習	35
くり返し練習のキャンセル	35

ソングを弾いてみましょう(ソングレッスン) 36

レッスンを始めましょう	36
レッスン1(タイミング)	38
レッスン2(ウェイティング)	39
レッスン3(マイナスイオン)	40
レッスン4(ボースハンド)	40
採点機能	41

音声ガイドを活用する 42

伴奏に合わせて演奏するには... 43

伴奏を選ぶ	43
伴奏のスタート	44
シンクロスタート	44
スタート	44
タップスタート	44
伴奏のストップ	45
ストップ	45
エンディング	45
テンポの設定	45
伴奏コードの押さえ方	46
シングルフィンガー	46
フィンガード	46

コードを調べよう 47

ディクショナリーでコードを調べよう	47
コード(和音)について	48
伴奏に合わせてメロディ演奏	49
伴奏音量の設定	49
伴奏パターンの切り替え	50
イントロ	50
メイン	51
フィルイン	51
エンディング	51

マルチパッドを鳴らすには... 52

マルチパッドバンクの選びかた/鳴らしかた	52
----------------------	----

MIDIを使うとこんなことができる 53

MIDIについて	53
MIDIを使ってできること	53

楽器リスト 54

最大同時発音数について	54
-------------	----

ドラムキットリスト 57

伴奏リスト/マルチパッドリスト 58

故障かな?と思ったら 59

オプション(別売)商品のご案内 59

MIDIインプリメンテーションチャート 60

仕様一覧 62

インデックス 63

保証とアフターサービス 64



演奏の準備

電源を入れる前に必要な準備について説明します。

■ 電源の準備

PSR-170は電源として電源アダプターか乾電池をご使用になれますが、基本的には電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

家庭用コンセントから電源をとるときは

- ① 本体の電源スイッチが切れている (STANDBY になっている)ことを確認してください。

! 電源アダプターをご使用になる場合は、別売のアダプター PA-3B または PA-3C をご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

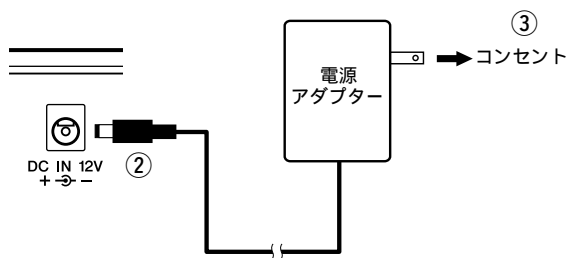
必ず実行

- ② アダプターの DC プラグをリアパネルの DC IN 12V (電源アダプター) 端子にさし込みます。

- ③ アダプターの AC プラグを家庭用 (AC100V) コンセントにさし込みます。

! 使用しないときや落雷の恐れがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

必ず実行

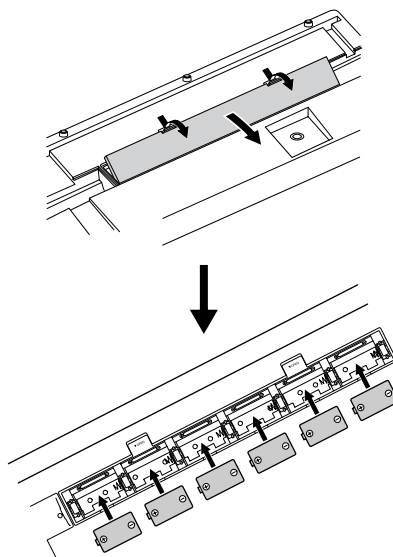


乾電池を使うときは

- ① PSR-170を柔らかい布などの上で裏返し、電池プタをはずします。
- ② 市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- ③ 電池プタを閉めます。

メモ

・乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。



乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したりディスプレイの表示が消えたりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。

! 乾電池はすべて +/- の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。

必ず実行

! 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)を一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。

! 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

必ず実行

同梱品について

PSR-170の同梱品を確認してください。

- ・ 本体
- ・ 譜面立て
- ・ 取扱説明書
- ・ ソングブック
- ・ 保証書

- ・ Macintoshは、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc.の商標です。
- ・ Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI)の登録商標です。

■ ヘッドフォン/外部出力端子について……



接続すると自動的にPSR-170のスピーカーから音が出なくなります。

PHONES/OUTPUT 端子は外部出力端子にもなります。PHONES/OUTPUT 端子とキーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子を接続すれば、PSR-170の演奏を外部機器で鳴らすことができます。



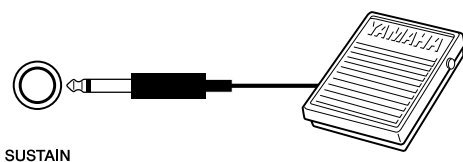
・大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。



必ず実行

・PSR-170を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、電源を切る前や入れる前に外部機器の音量を最小にしてから接続してください。

■ サステイン端子について……

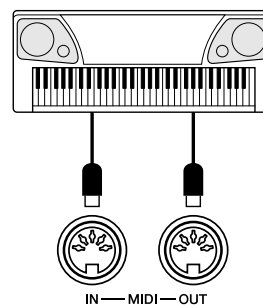


サステインとは、弾いた音に余韻を付け加える機能です。SUSTAIN(サステイン)端子にフットスイッチ(FC4またはFC5:別売)を接続すると、サステインのオン/オフ操作をフットスイッチで行なえます。



- ・SUSTAIN(サステイン)端子にフットスイッチを接続してから電源を入れてください。
- ・フットスイッチを踏みながら電源を入れしないでください。踏みながら電源を入れるとオン/オフが逆になります。

■ MIDI端子について……



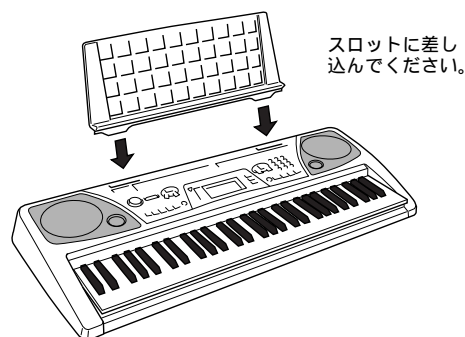
MIDI ケーブルを使って外部機器に接続することにより、PSR-170の演奏を録音/再生することができます。詳細は53ページをご覧ください。



必ず実行

- ・MIDIケーブルは楽器店などで買い求めください。
- ・MIDIケーブルは15mが限度とされています。これ以上長いケーブルをご使用になりますと、誤動作などトラブルの原因になりますのでご注意ください。

譜面立ての取り付け方

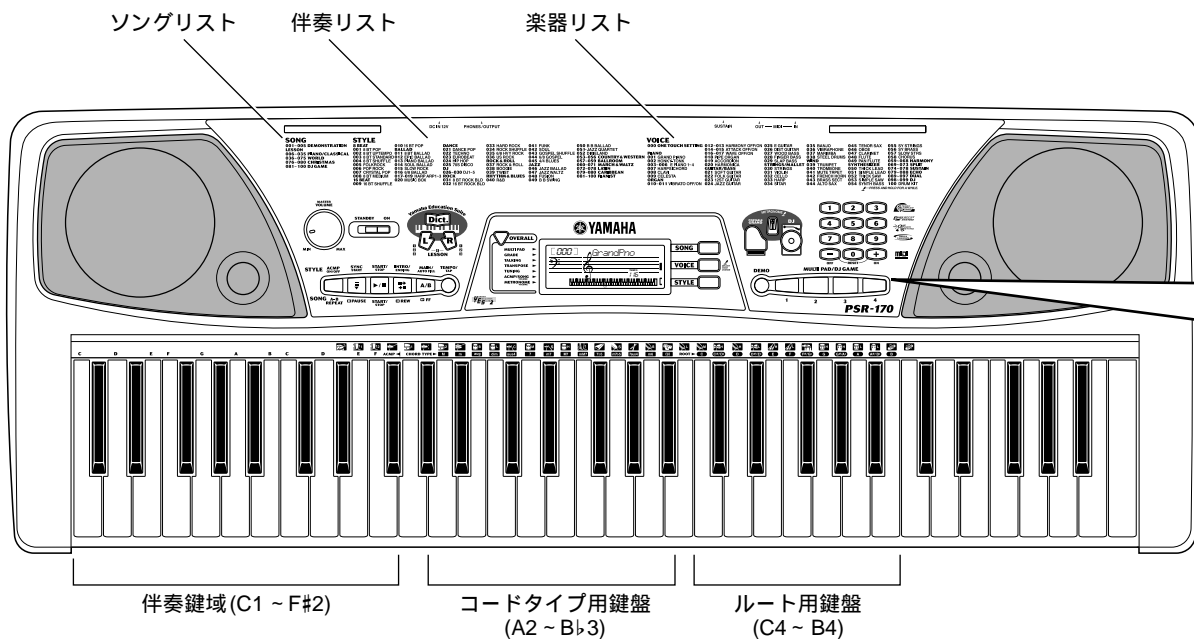


スロットに差し込んでください。



各部の名称

フロントパネル



- ① [MASTER VOLUME](音量ボリューム) 20ページ
- ② [STANDBY/ON]
(電源オフ/オン)スイッチ 20ページ
- ③ LESSON [L]/[R]
(レッスン左手/右手)ボタン 37ページ
- ④ [Dict.](ディクショナリー)ボタン 47ページ
- ⑤ [OVERALL](全体設定)ボタン 20ページ
- ⑥ [SONG](ソング)ボタン 31ページ
- ⑦ [VOICE](ボイス)ボタン 25ページ
- ⑧ [STYLE](スタイル)ボタン 43ページ
- ⑨ [PORTABLE GRAND]
(ポータブルグランド)ボタン 23ページ
- ⑩ [METRONOME](メトロノーム)ボタン 23ページ
- ⑪ [DJ]ボタン 26ページ
- ⑫ 数字ボタン[0] ~ [9], [+ /ON], [- /OFF] .. 21ページ

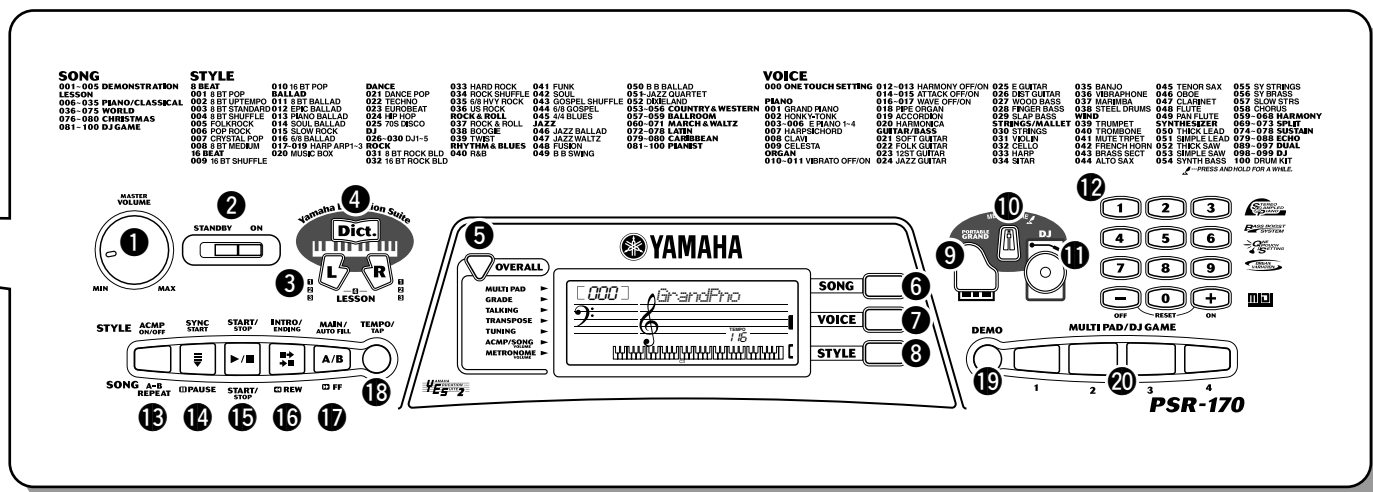
伴奏のとき

- ⑬ [ACMP ON/OFF]
(伴奏オン/オフ)ボタン 44ページ
- ⑭ [SYNC START]
(シンクロスタート)ボタン 44ページ
- ⑮ [START/STOP]
(スタート/ストップ)ボタン 44, 45ページ
- ⑯ [INTRO/ENDING]
(イントロ/エンディング)ボタン 45, 50, 51ページ
- ⑰ [MAIN/AUTO FILL]
(メイン/オートフィル)ボタン 51ページ

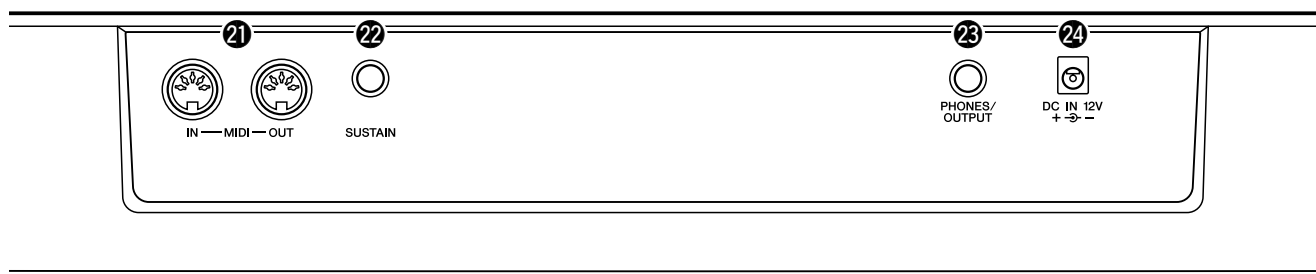
ソングのとき

- ⑬ [A-B REPEAT](A-Bリピート)ボタン 35ページ
- ⑭ [⏸ PAUSE](⏸一時停止)ボタン 34ページ
- ⑮ [START/STOP]
(スタート/ストップ)ボタン 34ページ
- ⑯ [⏮ REW](⏮巻き戻し)ボタン 34ページ
- ⑰ [⏭ FF](⏭早送り)ボタン 34ページ

- ⑱ [TEMPO/TAP](テンポ/タップ)ボタン 33ページ
- ⑲ [DEMO](デモ)ボタン 31ページ
- ⑳ [MULTI PAD/DJ GAME]
(マルチパッド/DJゲーム)ボタン 26, 52ページ

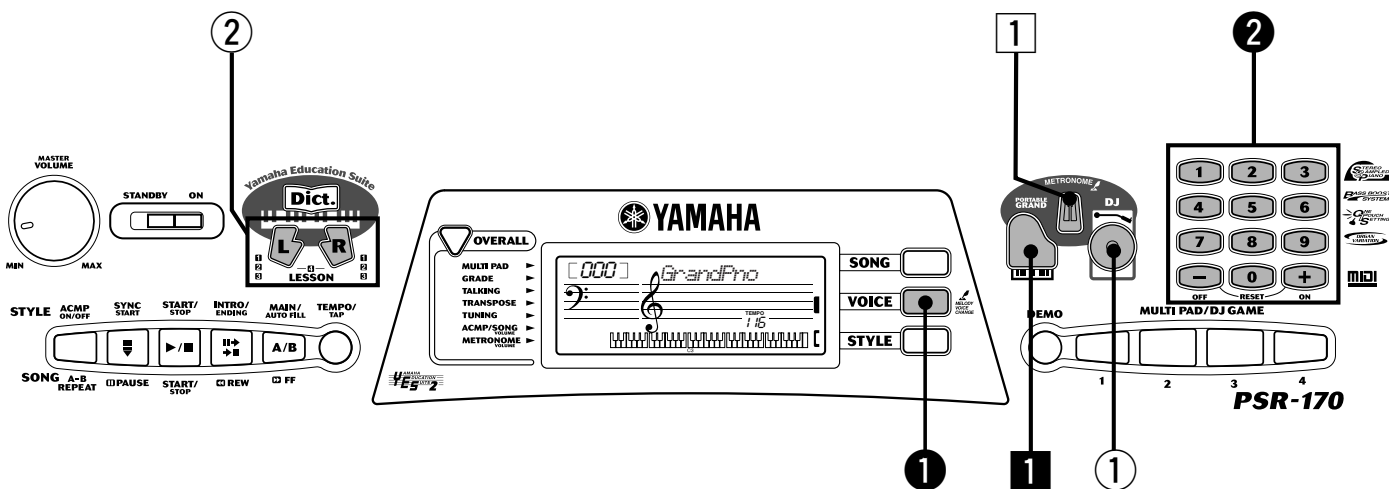


リアパネル



- ②① MIDI IN/OUT 端子..... 9ページ
- ②② SUSTAIN(サステイン)端子 9ページ
- ②③ PHONES/OUTPUT(ヘッドフォン/外部出力)端子 9ページ
- ②④ DC IN 12V(電源アダプター)端子 8ページ

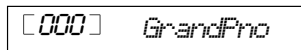
ステップ1 楽器



グランドピアノの音で弾いてみましょう

[PORTABLE GRAND]ボタンを押すと、すべての設定がピアノ演奏用に切り替わります。

1 [PORTABLE GRAND]ボタンを押します。



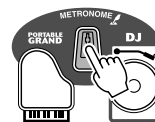
2 演奏しましょう。



詳しくは23ページをご覧ください。

メトロノームを鳴らしながら練習しましょう

1 [METRONOME]ボタンを押します。



詳しくは23ページをご覧ください。

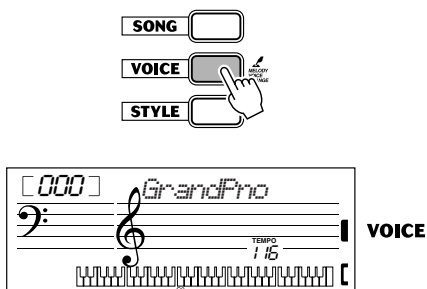
[楽器リスト]

No.	楽器名	No.	楽器名	No.	楽器名	No.	楽器名	No.	楽器名
	ピアノ	011	ビブラートオン	022	フォークギター	033	ハーブ	044	アルトサクソ
001	グランドピアノ	012	ハーモニーオフ	023	12弦ギター	034	シタール	045	テナーサクソ
002	ホンキートンクピアノ	013	ハーモニーオン	024	ジャズギター	035	バンジョー	046	オーボエ
003	エレКТリックピアノ1	014	アタックオフ	025	エレКТリックギター	036	ピブラフォン	047	クラリネット
004	エレКТリックピアノ2	015	アタックオン	026	ディストーションギター	037	マリンバ	048	フルート
005	エレКТリックピアノ3	016	ウェーブオフ	027	ウッドベース	038	スティールドラム	049	パンフルート
006	エレКТリックピアノ4	017	ウェーブオン	028	フィンガーベース		プラス		シンセサイザー
007	ハーブシコード	018	パイプオルガン	029	スラップベース	039	トランペット	050	シックリード
008	クラビ	019	アコーディン		ストリングス/マレット	040	トロンボーン	051	シンプルリード
009	チェレスタ	020	ハーモニカ	030	ストリングス	041	ミュートトランペット	052	シックソウトゥース
	オルガン		ギター/ベース	031	バイオリン	042	フレンチホルン	053	シンプルソウトゥース
010	ビブラートオフ	021	ソフトギター	032	チェロ	043	プラスセクション	054	シンセベース

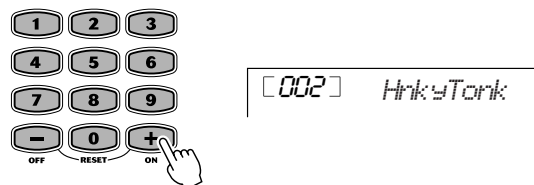
いろいろな音色で弾いてみましょう

PSR-170には100種類の楽器(音色)が入っています。好きな楽器を選んで弾いてみましょう。

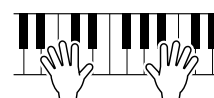
① [VOICE] ボタンを押します。



② 楽器を選びます。



③ 演奏しましょう。



詳しくは25ページをご覧ください。

DJで遊んでみましょう

リズムをバックに効果音を出して遊ぶことができます。

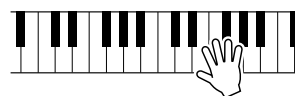
① [DJ] ボタンを押します。



② LESSON [L]または[R]ボタンを押します。

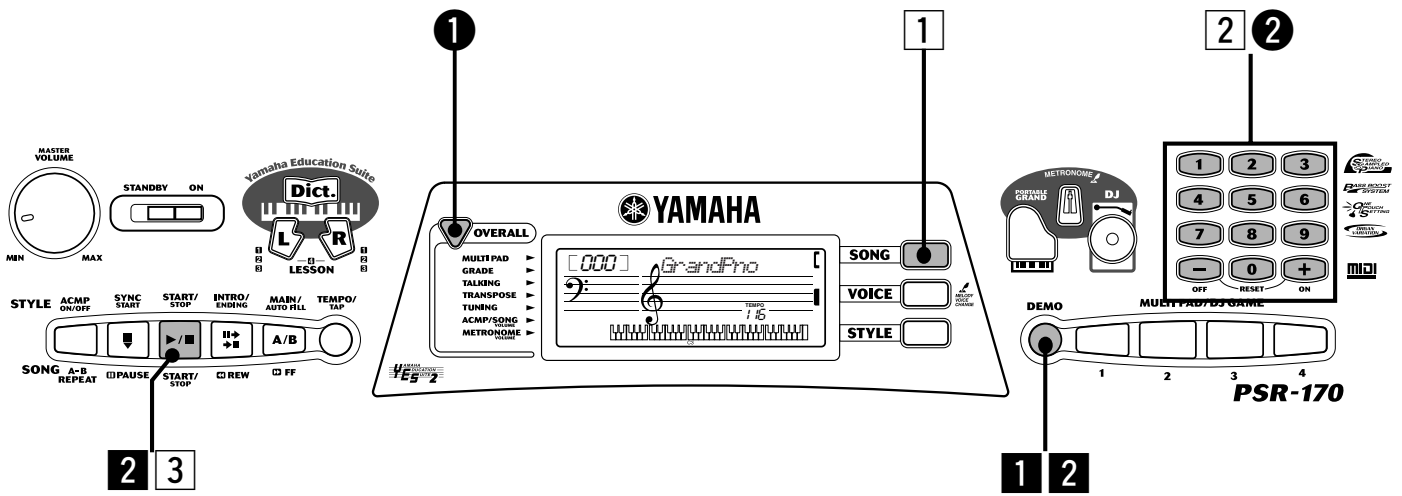


③ 鍵盤を叩くように演奏すると、さまざまな効果音が鳴ります。



詳しくは26ページをご覧ください。

No.	楽器名	No.	楽器名	No.	楽器名	No.	楽器名	No.	楽器名
055	シンセストリングス	066	ホルンデュエット	076	サステインエレピ2	087	エコースティールドラム	DJ	
056	シンセベース	067	クラリネットトリオ	077	サステインピラフォン	088	エコードラムキット		
057	スローストリングス	068	フルートデュエット	078	サステインストリングス	デュアル		098	DJ ボイス1
058	コーラス	スプリット		エコー		089	ピアノコンチェルト	099	DJ ボイス2
ハーモニー		069	ウッドベース/ピアノ	079	エコーピアノ	090	エレピコンチェルト	ドラムキット	
059	ピアノトリオ	070	ストリングス/ピアノ	080	エコーエレクトリックピアノ	091	フェアリーランド	100	ドラムキット
060	ピアノカントリー	071	ベース/エレピ	081	エコーハーブシコード	092	ムードギター		
061	エレピトリオ	072	ハーブ/バイオリン	082	エコーチェレスタ	093	リッチギター		
062	ハーブシコードトリオ	073	ホルン/トランペット	083	エコーフォークギター	094	ホットオルガン		
063	オルガントリオ	サステイン		084	エコーバンジョー	095	エクセルバイオリン		
064	ピラフォンデュエット	074	サステインピアノ	085	エコーピラフォン	096	クリスタル		
065	トランペットデュエット	075	サステインエレピ1	086	エコーマリンバ	097	スターシップ		

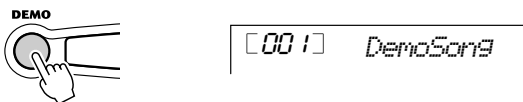


ソングを鳴らしましょう

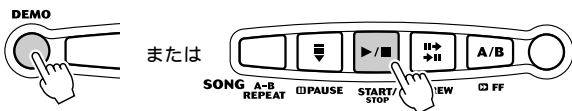
デモソングを鳴らしましょう

5曲のデモソングを連続して聞いてみましょう。

- 1 [DEMO] ボタンを押します。



- 2 ソングを止めます。



詳しくは31ページをご覧ください。

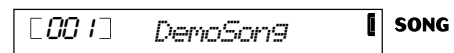
メモ

- ・ [DEMO] ボタンを押しながら電源を入れると、[DEMO] ボタンを押してもデモソングが鳴らないようにすることができます。電源を入れ直すと、通常の状態に戻ります。

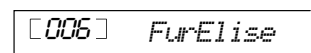
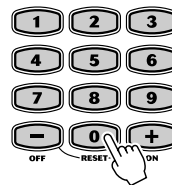
1曲選んで鳴らしましょう

好みの曲を選んで聞くことができます。

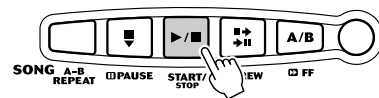
- 1 [SONG] ボタンを押します。



- 2 ソングを選びます。



- 3 ソングをスタート/ストップします。



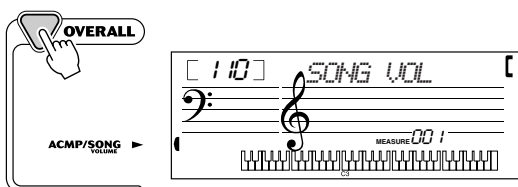
詳しくは31ページをご覧ください。

[ソングリスト]

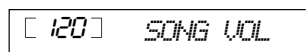
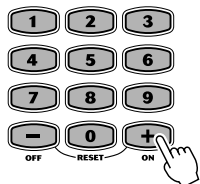
No.	ソング名	No.	ソング名
001-005	デモ	049	蛍の光 (Traditional)
	ピアノ / クラシック	050	なつかしのバージニア (Traditional)
006	エリーゼのために (L.v. Beethoven)	051	テキサスの黄色いバラ (C.H. Brown)
007	バッハのメヌエット (J.S. Bach)	052	ロング・ロング・アゴー (T.H. Bayly)
008	モーツァルトのトルコ行進曲 (W.A. Mozart)	053	ロンドン橋 (Traditional)
009	ベートーベンのトルコ行進曲 (L.v. Beethoven)	054	故郷の人々 (S.C. Foster)
010	子犬のワルツ (F. Chopin)	055	かわいいオーガスティン (Traditional)
011	別れの曲 (F. Chopin)	056	愛しのクレメンタイン (Traditional)
012	主よ、人の望みの喜びよ (J.S. Bach)	057	浜辺の歌 (T. Narita)
013	よるこびのうた (L.v. Beethoven)	058	故郷 (T. Okano)
014	ゴセックのガボット (F.J. Gossec)	059	おお、スザンナ (S.C. Foster)
015	楽しき農夫 (R. Schumann)	060	金髪のジェニー (S.C. Foster)
016	バッハのボロネーズ (J.S. Bach)	061	線路は続くよどこまでも (Traditional)
017	パッヘルベルのカノン (J. Pachelbel)	062	ロツボ・ローモンド (Traditional)
018	野ばら (F. Schubert)	063	マイ・ボニー (Traditional)
019	トロイメライ (R. Schumann)	064	アルプス一万尺 (Traditional)
020	新世界より (A. Dvorák)	065	わらの中の七面鳥 (Traditional)
021	春の歌 (F. Mendelssohn)	066	アニー・ローリー (L. Scott)
022	クリーガーのメヌエット (J. Krieger)	067	むすんでひらいて (J.J. Rousseau)
023	愛の夢第3番 (F. Liszt)	068	別れ (F. Silcher)
024	花の歌 (G. Lange)	069	かつこう (Traditional)
025	花のワルツ(くすみ割り人形より) (P.I. Tchaikovsky)	070	リパブリック讃歌 (Traditional)
026	G線上のアリア (J.S. Bach)	071	草競馬 (S.C. Foster)
027	ます (F. Schubert)	072	愛のロマンス (Traditional)
028	行進曲(くすみ割り人形より) (P.I. Tchaikovsky)	073	アメリカン・パトロール (F.W. Meacham)
029	ユーモレスク (A. Dvorák)	074	茶色の小瓶 (Traditional)
030	ピチカートポルカ (J. Strauss)	075	エンターティナー (S. Joplin)
031	シューベルトのアヴェマリア (F. Schubert)	クリスマス	
032	グノーのアヴェマリア (C. Gounod)	076	ジングル・ベル (J.S. Pierpont)
033	モーツァルトの子守歌 (B. Flies)	077	きよこの夜 (F. Gruber)
034	シューベルトの子守歌 (F. Schubert)	078	もろびとこぞりて (G.F. Händel)
035	ブラームスの子守歌 (J. Brahms)	079	もみの木 (Traditional)
	ワールド(世界の歌)	080	ひいらぎかざろう (Traditional)
036	きらきら星 (Traditional)	DJゲーム	
037	大きな古時計 (H.C. Work)	081	ユーロテクノ
038	夢見る君 (S.C. Foster)	082	フレア
039	グリーンスリーブス (Traditional)	083	グラインド
040	春の日の花と輝く (Traditional)	084	アシッドハウス
041	ちょうちょう (Traditional)	085	ポップレゲエ
042	埴生の宿 (H. Bishop)	086	ラガ
043	アメージング・グレース (Traditional)	087	シェイキン
044	オーラ・リー (G. Poulton)	088	デジタルロック
045	ケンタッキーのわが家 (S.C. Foster)	089	スパバッド
046	アロハ・オエ (Traditional)	090	アンビエント
047	ローレライ (F. Silcher)	091	アシッドテクノ
048	ロンドンデリーの歌 (Traditional)	092	ソウルフル
		093	ドラム&ベース1
		094	ドラム&ベース2
		095	ハードステップ8th
		096	ファンキートリップホップ
		097	ハイブ
		098	ビートボックス
		099	ファンクアップ
		100	オールザット

ソング音量を変更して、
鍵盤演奏とのバランスをとりましょう。

- ① [OVERALL] ボタンを押して、「ACMP/SONG VOLUME」にアイコン(●)を合わせます。

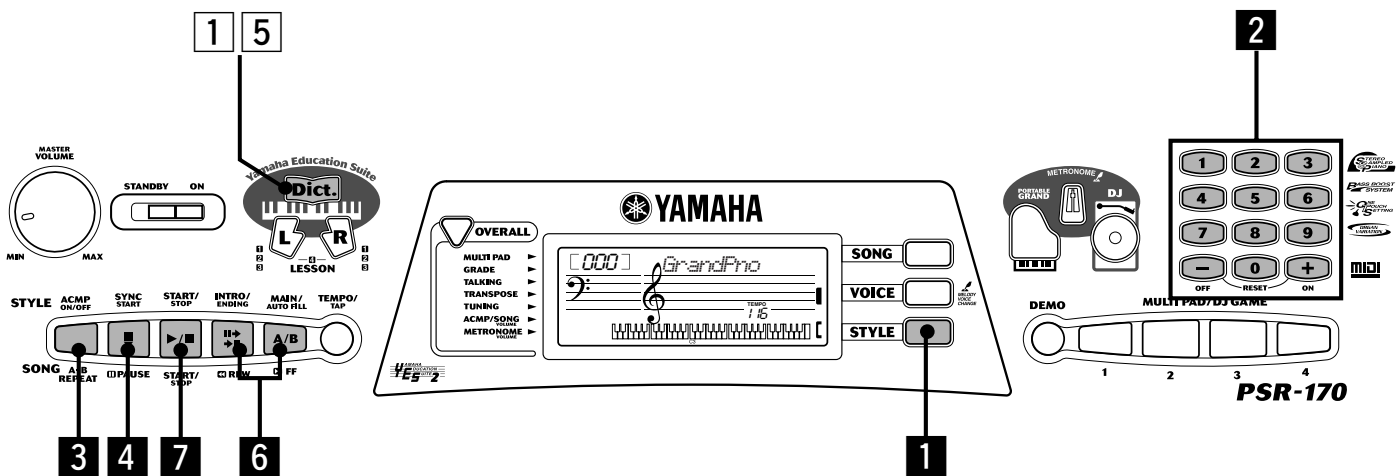


- ② 数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して、ソングの音量を変更します。



詳しくは34ページをご覧ください。

ソング(ソングNo. 006 ~ 080)は楽譜付きです。
ソングブックを参照してください。

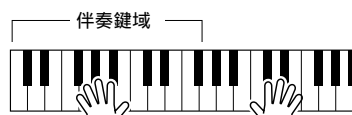


伴奏を使って演奏しましょう

伴奏機能は、左手でコード(和音)を押さえるだけで、そのコード(和音)に合った伴奏が鳴る機能です。
伴奏をバックにメロディを演奏しましょう。

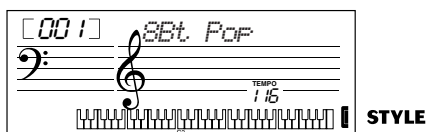
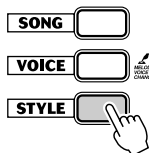
メモ

- ・コードの押さえ方は「伴奏コードの押さえ方」(46ページ)や、「コードを調べよう」(47ページ)をご覧ください。

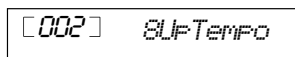
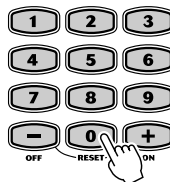


左手 + 右手
コード演奏 + メロディ演奏 (例: ピアノ)
伴奏 (例: ベース + ギター + ドラム)

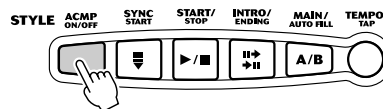
1 [STYLE]ボタンを押します。



2 好みの伴奏を選びます。
(伴奏リストは、58ページ)

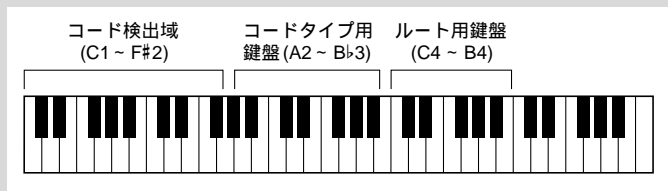


3 伴奏を「オン」にします。



コードを調べよう(ディクショナリー)

コード(和音)名がわかっていて、コードの弾き方がわからないとき、「ディクショナリー機能」が役立ちます。

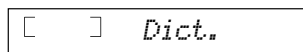


コードの押さえ方を勉強しましょう

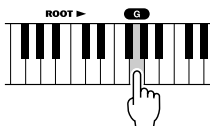
コード例



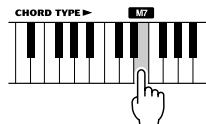
1 [Dict.]ボタンを押します。



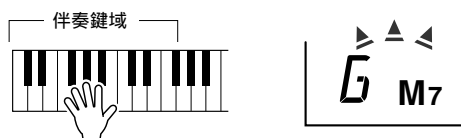
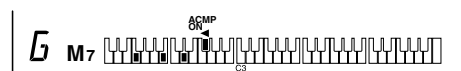
2 知りたいコードのルート音(根音)を押します。



3 知りたいコードのコードタイプを押します。



4 ディスプレイの鍵盤ガイドにしたがって、鍵盤(コード検出域)を押さえます。
正しく押さえると、ディスプレイのコード名が点滅します。

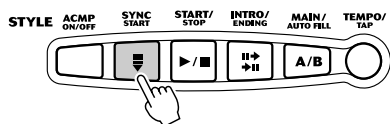


5 ディクショナリー機能を終了するときには、もう1度 [Dict.]ボタンを押します。



詳しくは47ページをご覧ください。

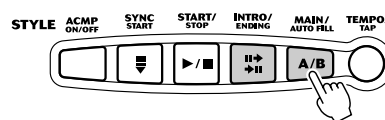
4 シンクロスタートを「オン」にします。



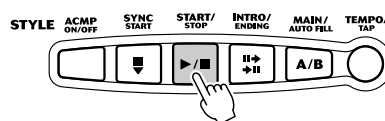
5 コード(左手)を演奏します。
伴奏がスタートします。
「コードを調べよう」(47ページ)を活用します。



6 好みの伴奏パターンに切り替えます。

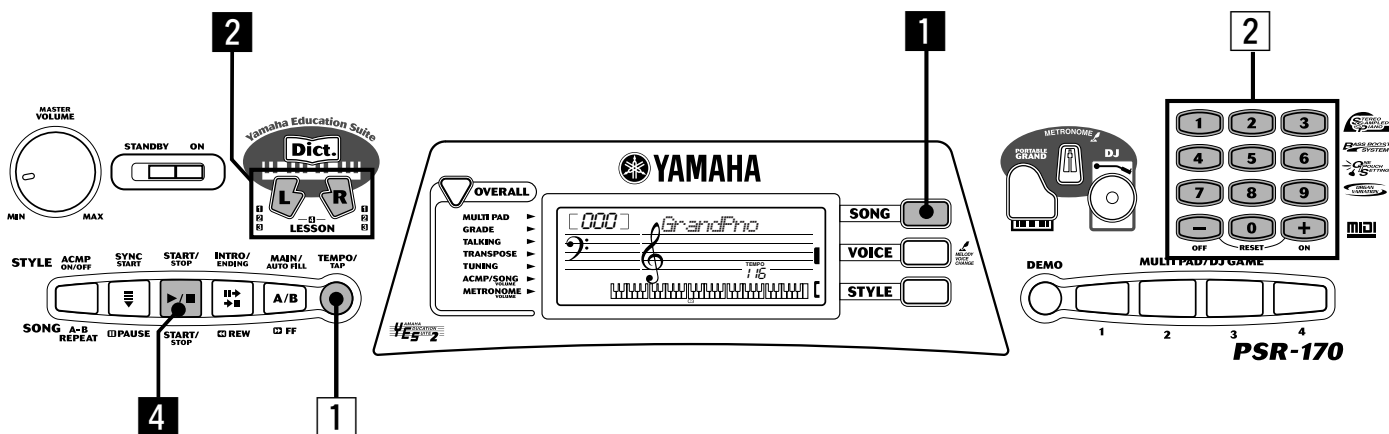


7 伴奏をストップします。



詳しくは43ページをご覧ください。

ステップ4 レッスン



レッスン機能を使ってみましょう

100 曲のソングの中から、気に入った曲を見つけたら、この機能を使ってソングを弾けるようになります。右手を練習するときは[R]ボタン、左手を練習するときには[L]ボタンを押します。右手・左手ともに以下のレッスン機能で練習ができます。

- レッスン1「タイミング」..... 鍵盤を弾くタイミングを練習します。
- レッスン2「ウェイティング」..... ディスプレイの音符どおりに正しく鍵盤を弾く練習をします。
音符どおりの鍵盤が弾かれるまで、進まず待っていてくれます。
- レッスン3「マイナスワン」..... カラオケのように伴奏に合わせて弾く練習をします。
- レッスン4「ポーズハンド」..... レッスン3で右手、左手が弾けるようになったら、両手で弾く練習をします。

1 レッスン曲を選びます。
ソングの選び方は31ページをご覧ください。

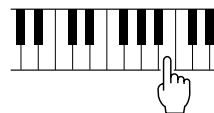


2 レッスン方法を選びます。
右手の練習には[R]ボタン、左手の練習には[L]ボタンを押します。LESSON [L]と[R]ボタンは、それぞれ押しごとにレッスン1 レッスン2 レッスン3 「オフ」レッスン1...の順番に変わります。両手で練習(レッスン4)するときには、[L]と[R]ボタンを同時に押します。

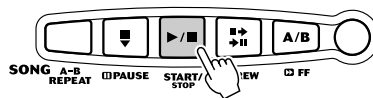


[r] Timing

3 鍵盤を弾きます。

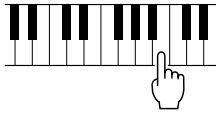


4 レッスンを終わります。



レッスン1：タイミング

鍵盤を弾くタイミングを練習します。
レッスン1では、どの鍵盤を弾いてもかまいません。
メロディのタイミングどおりに、好きな鍵盤を弾きます。

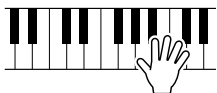


[r 1] Timing

詳しくは38ページをご覧ください。

レッスン2：ウェイティング

音符どおりに正しく鍵盤を弾く練習をしましょう。
ディスプレイの音符どおりに正しい鍵盤が押されるまで、
伴奏は進まず待ってくれます。

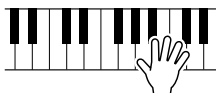


[r 2] Waiting

詳しくは39ページをご覧ください。

レッスン3：マイナスイワン

伴奏はカラオケのようにテンポどおりに進んでいきます。
伴奏に合わせて弾いてみましょう。



[r 3] MinusOne

詳しくは40ページをご覧ください。

レッスン4：ボースハンド

両手で弾く練習をします。



[Lr 4] BothHand

詳しくは40ページをご覧ください。

レッスン1から4まで、レベルに応じてチャレンジしてください。

採点機能

レッスンが終わると、その演奏をPSR-170が採点します。
演奏終了後、ディスプレイに「OK」「Good」「VeryGood」
「Excellent」と、4段階で評価してくれます。

詳しくは41ページをご覧ください。

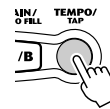
音声ガイド

機能名、レッスン名や採点の結果を音声で教えてくれます。

詳しくは42ページをご覧ください。

テンポ(速さ)を変えてみましょう

① [TEMPO/TAP]ボタンを押します。



[116] TEMPO

② 数字ボタン[0]～[9], [+], [-]を押して、テンポを変更します。



メモ

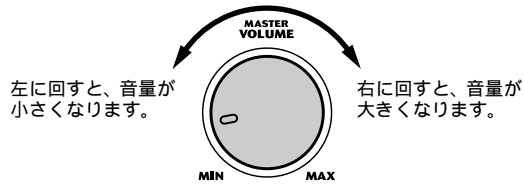
・ボタンを押すタイミングでテンポを設定できるタップ機能があります。詳しくは33ページをご覧ください。



基本的な操作方法とディスプレイの見かた

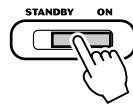
音量の調節

[MASTER VOLUME]を回します。



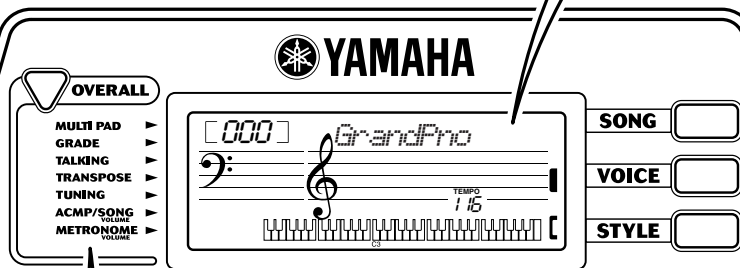
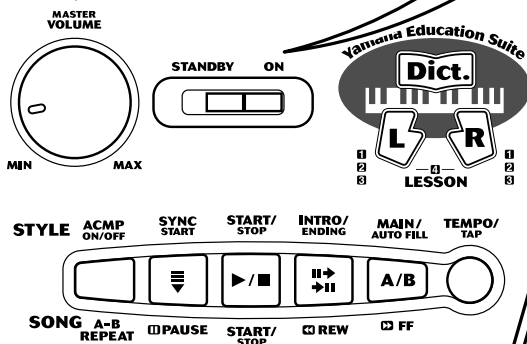
電源 オン

ON 側にすると電源が入ります。STANDBY 側にすると電源が切れます。



必ず実行

- ・スイッチが「STANDBY」の状態でも微電流が流れています。PSR-170を長時間使用しないときは必ず電源アダプターを抜いてください。また、乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜いてください。



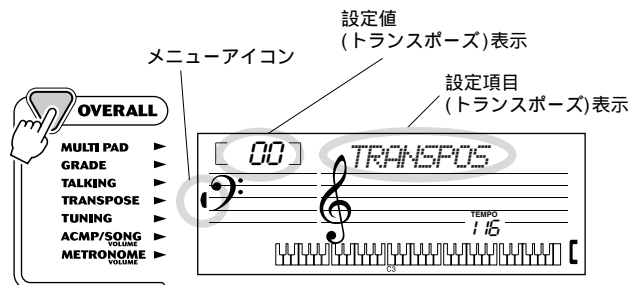
OVERALL (全体設定) 表示

OVERALL(全体設定)では、PSR-170のさまざまな設定が行なえます。

OVERALL	
MULTI PAD	▶ マルチパッド..... 52 ページ
GRADE	▶ 採点..... 41 ページ
TALKING	▶ 音声ガイド..... 42 ページ
TRANPOSE	▶ トランスポーズ..... 29 ページ
TUNING	▶ チューニング..... 30 ページ
ACMP/SONG VOLUME	▶ 伴奏/ソング音量..... 34, 49 ページ
METRONOME VOLUME	▶ メトロノーム音量..... 24 ページ

[OVERALL]ボタンを押すと、ディスプレイ左端の設定変更アイコン(⚙)が移動し、ディスプレイには現在選ばれている「設定項目」と「設定値」が表示されます。

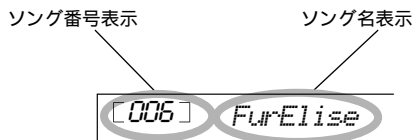
例) トランスポーズの場合



名前 & 番号表示 (SONG/STYLE/VOICE)

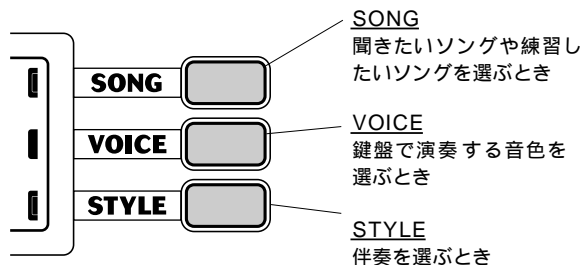
ディスプレイには、現在選ばれている機能の「名前と番号」が表示されます。

例) ソングの場合



基本的な機能の選びかた

[SONG]、[STYLE]、[VOICE] ボタンを押すと、基本的な機能を選ぶことができます。(選ばれている機能のアイコンが表示されます。)

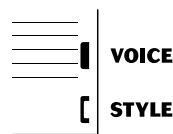


ソングや伴奏を選んだあとに楽器を選ぶと、次のような表示になります。

ソングで鍵盤の音色を選ぶ場合

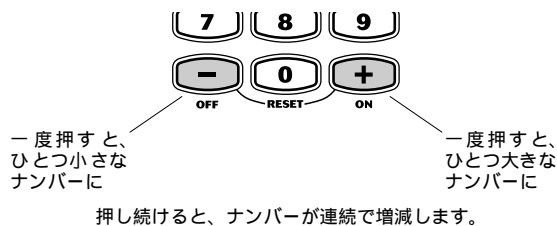


伴奏で鍵盤の音色を選ぶ場合



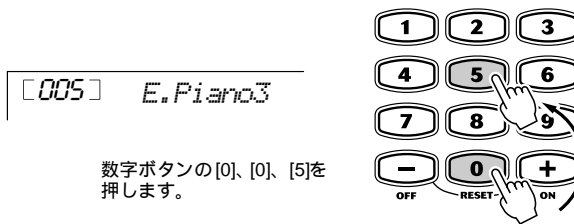
ナンバーの選びかた

ナンバーをひとつずつ変えるには、数字ボタン [+], [-] を使用します。



直接ナンバーを選ぶには、数字ボタン [0] ~ [9] を使用します。

例) 「005 エレクトリックピアノ3」を選ぶ場合



数字ボタンの [0], [0], [5] を押します。

メモ

・「100の位」が [0] の場合、0 を省略できます。同様に、「100の位」と「10の位」が [0] の場合も、[00] を省略して入力できます。

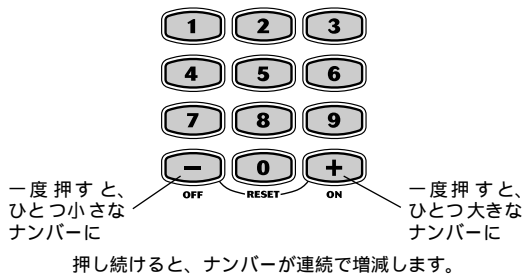
長く押す (PRESS AND HOLD FOR A WHILE.)



この機能の付いたボタンを 1 秒以上押し続けると、そこに書かれた別機能に移ります。

設定値の変えかた

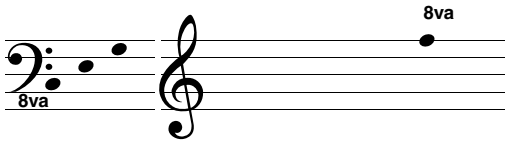
設定値の変更は、数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] を使用します。



基本的な操作方法とディスプレイの見かた

音符表示

通常は押した鍵盤の譜面上の位置や、押したコードの構成音を表示します。ディクショナリー機能のときはコードの構成音を表示します。



メモ

- ・1音でもオクターブ上の音が存在する場合は五線譜の上に「8va」が、オクターブ下の音が存在する場合は五線譜の下に「8va」が表示されます。
- ・表示の制約により、和音の一部が表示されない場合があります。

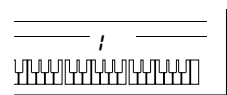
テンポ (TEMPO)/小節 (MEASURE) 表示

「TEMPO」表示のときは伴奏やソングなどのテンポ(曲の速さ)を、「MEASURE」表示のときはソングの小節番号を表示します。

TEMPO
116
MEASURE 003

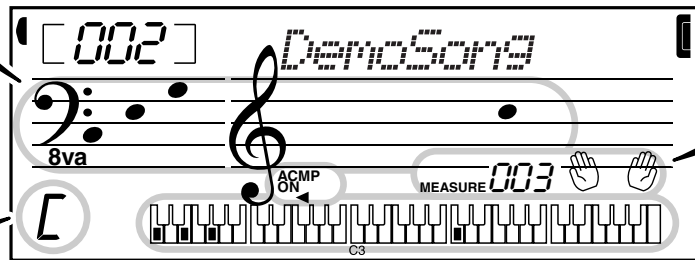
メトロノーム表示

メトロノームがスタートすると、拍番号を表示します。



ビート表示

伴奏やソングのビート(拍)を、手拍子のアイコンで表示します。



コード表示

ソングで使われているコードや、鍵盤で押さえたコード名などを表示します。



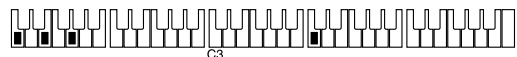
伴奏オン (ACMP ON) 表示

伴奏機能のオン/オフを表示します。



鍵盤表示

通常は押した鍵盤の位置を表示します。伴奏を使用したときと、ディクショナリーを使用したときは、コードの構成音を表示します。





楽器(音色)を選ぶには...

グランドピアノで弾く

PSR-170はさまざまな機能を持っていますが、「とにかくピアノの練習をしたい」というときには、[PORTABLE GRAND]ボタンを押します。

[PORTABLE GRAND]ボタンを押すと、PSR-170のすべての設定がピアノ演奏用に切り替わります。



[PORTABLE GRAND]ボタンを押して設定される内容

- ・楽器 001 グランドピアノ
- ・伴奏 「オフ」
- ・テンポ 136
- ・ソング 「006 エリーゼのために」
[START/STOP]ボタンを押すと「エリーゼのために」を再生：ソングの「006～035 ピアノ/クラシカル」にはピアノ演奏に適した曲が入っています。
- ・伴奏 「2beat」
[STYLE]ボタンを押します。
[ACMP ON/OFF]ボタンを押します。
[START/STOP]ボタンを押して、コードを押さえると「2beat」の伴奏が鳴る：伴奏の「081～100 ピアニスト」にはピアノ伴奏に適した伴奏が入っています。「081～100 ピアニスト」を選んでスタートした場合、リズムは鳴りません。

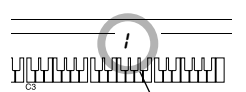
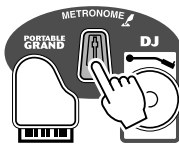
■メトロノーム.....

[METRONOME]ボタンを押すと、ソングや伴奏のテンポに合わせてメトロノームの音が鳴ります。ピアノの練習に活用しましょう。メトロノームは1拍目に高い音が鳴ります。

もう一度押すとメトロノームの音がストップします。

メモ

- ・メトロノームの速さは「テンポの調整」で調整します。(33ページ参照)

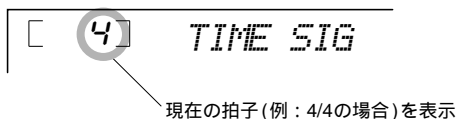


拍番号を表示します。

楽器(音色)を選ぶには...

●メトロノームの拍子設定

[METRONOME] ボタンを1秒以上押し続けると、メトロノームの拍子設定画面になります。数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して、拍子を設定します。



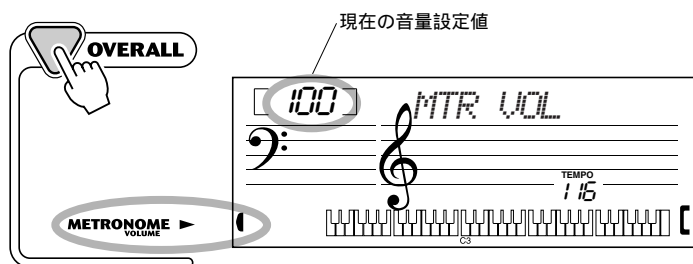
数字ボタン	拍子
1	1/4 (すべての拍で高い音)
2	2/4
3	3/4
4	4/4
5	5/4
6	6/4
7	7/4
8	8/4
9	9/4
0	- (高い音が鳴らない状態)



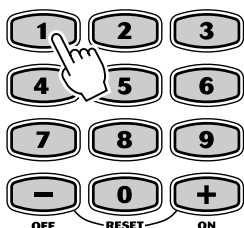
- ・拍子を「0」に設定すると「高い音が鳴らない状態」になります。
- ・拍子の設定はメトロノーム機能が「オン」の状態、設定することができます。
- ・伴奏やソングの再生中は拍子は変更できません。
- ・伴奏やソングを変更すると、拍子は自動的に切り替わります。

●メトロノーム音量の調整

① [OVERALL] ボタンを押して、「METRONOME VOLUME」を選びます。



② 数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して、メトロノームの音量を000~127の範囲で変更します。



- ・数字ボタン[+], [-]を同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。

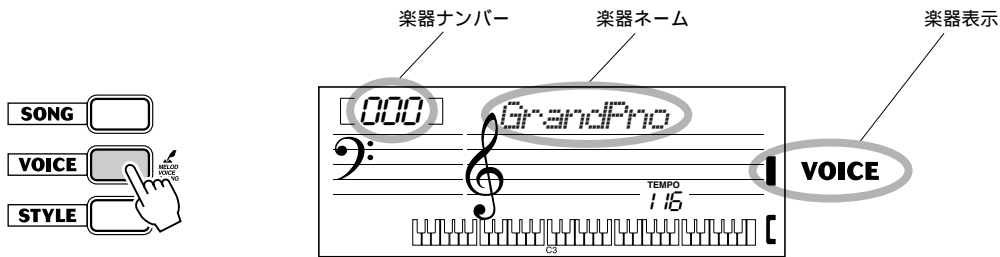
●テンポの設定

テンポを変更する場合は、[TEMPO/TAP] ボタンを押して、数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を使って変更します。(33ページ参照)

楽器を選ぶ

PSR-170には、先進のAWM(アドバンスド・ウェーブ・メモリー)音源を利用した高品質な100種類の音色が入っています。100音色の中には、以下のように効果付きの音色もあります。

1 [VOICE]ボタンを押します。

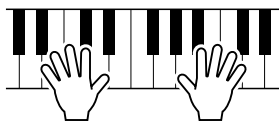


2 数字ボタン[0] ~ [9], [+], [-]で楽器ナンバーを選びます。 ナンバーの選びかた(21ページ参照)

メモ

・楽器ナンバー「000」はワンタッチセッティングです。ワンタッチセッティング(000)とは、伴奏やソングを選んだとき、自動的に最適な楽器が選ばれる機能です。

3 演奏してみましょう。 いろいろな楽器を選んで演奏してみましょう。



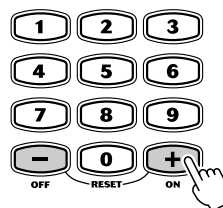
メモ

・PSR-170の最大同時発音数は16音です。デュアル音色などを利用して演奏すると2倍の発音数を使用するため、残りの発音数に注意する必要があります。同時発音数には伴奏やソングなどの発音も含まれます。最大同時発音数を越えると、ある音が途中で消えたり鳴らなくなったりすることがあります。

・オルガンバリエーション

- ① 10番の楽器を選びます。
オルガンの音が鳴ります。
- ② [+ /ON]ボタンを押します。
オルガンの音にビブラートがかかります。
- ③ [- /OFF]ボタンを押します。
ビブラートが「オフ」になります。

ORGAN
010~011 VIBRATO OFF/ON
012~013 HARMONY OFF/ON
014~015 ATTACK OFF/ON
016~017 WAVE OFF/ON



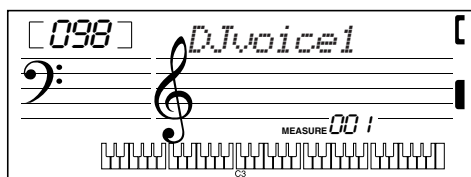
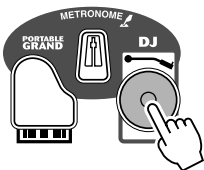
メモ

・同様に、HARMONY(ハーモニー)のオン/オフ、ATTACK(アタック)のオン/オフ、WAVE(ウェーブ)のオン/オフにも使用できます。

DJで遊ぶには

伴奏をバックにさまざまな効果音を鳴らして、DJのような演奏を楽しむことができます。また、レッスン機能を使ってDJ演奏を楽しむこともできます。

- 1 [DJ] ボタンを押します。
ソングにはDJソングが、楽器にはDJが自動的に選ばれます。



- 2 [L]または[R] ボタンを押してレッスンをスタートします。

レッスンのステップ(1~3)を選びます。

DJレッスンでは、右手/左手の区別がありません。レッスン4は、レッスン3と同じ機能になります。

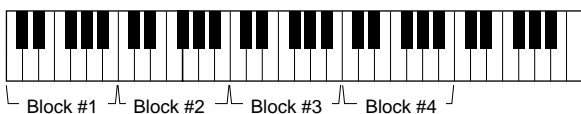


レッスン1では、どの鍵盤を叩いてもかまいません。

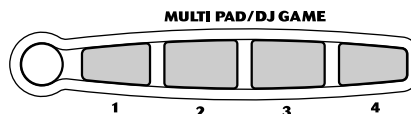
レッスン2, 3では、ディスプレイに表示されるブロックの鍵盤を叩いてください。



・マルチパッドも、鍵盤同様に使用できます。

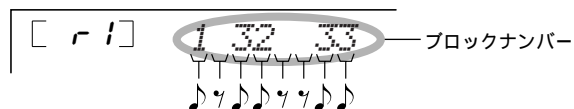


または



ディスプレイには、鍵盤を叩くタイミングが表示されます。

(音声ガイドが「オン」になっている場合、レッスン2ではブロック番号を声でも教えてくれます。)

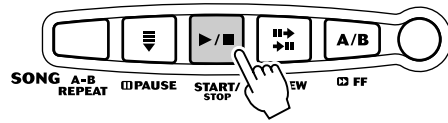


- ・ 3 → 1
同じ位置にブロック番号が2回表示された場合は、その数字のブロックを表示された順番に16分音符で叩いてください。(16分音符のリズムで、ブロック3 1と叩く。)
- ・ 3 → =
同じ位置に“=”(イコール)が表示された場合は、“=”の前に表示したブロックを、8分音符より早いタイミングで、続けて叩いてください。

3 [START/STOP]ボタンを押してレッスンを終了します。

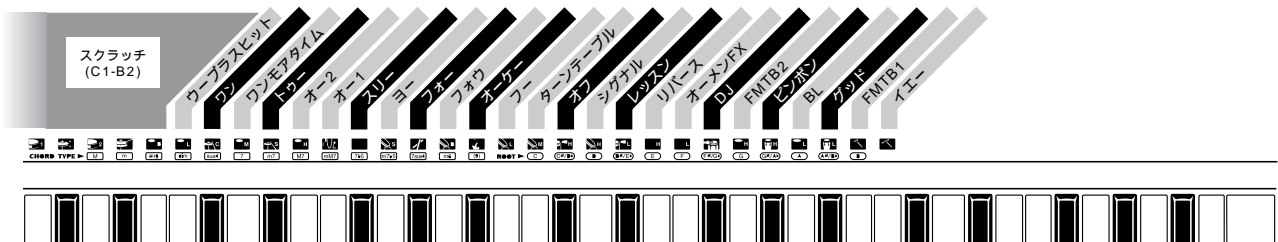


・DJソングを変えたり、楽器を変えて(楽器ナンバー098, 099)演奏してみましょう。

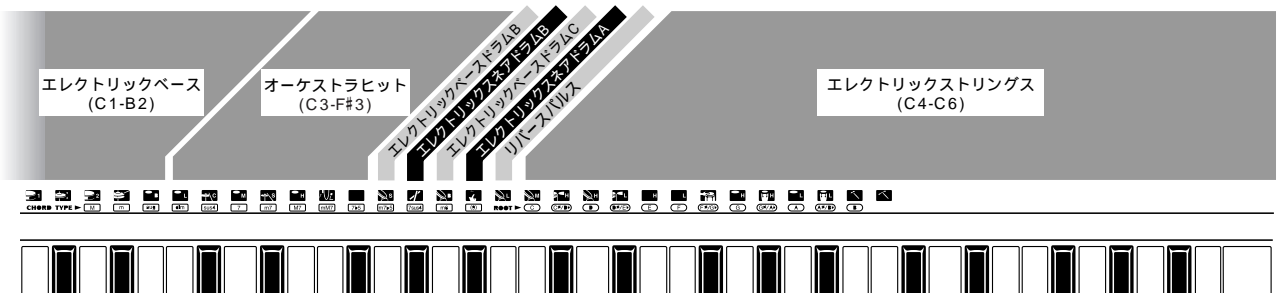


DJの音を鍵盤で鳴らす(DJセット)

例) 098 DJ set1(DJセット1)



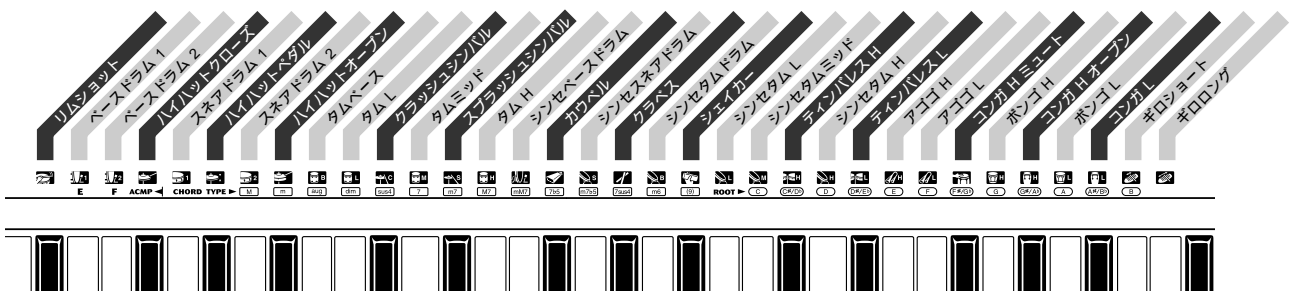
例) 099 DJ set2(DJセット2)



ドラムキットについて

楽器ナンバー「88, 100 ドラムキット」を選ぶと、ドラム/パーカッションの音色が以下のようにセットされます。

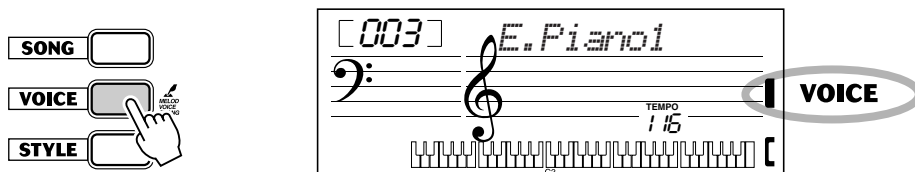
【ドラム/パーカッションリスト】



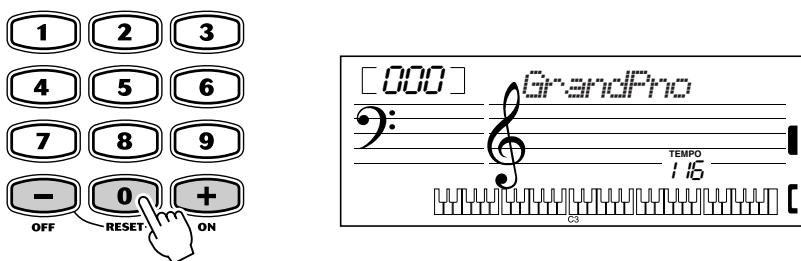
ソングや伴奏に最適な楽器を選ぶ(ワンタッチセッティング)

ワンタッチセッティングは、ソングや伴奏を選んだときに、自動的に最適な楽器を選ぶ機能です。

- 1 [VOICE]ボタンを押します。
現在選ばれている楽器名が表示されます。



- 2 数字ボタン[0], [+], [-]で、楽器ナンバー「000」を選びます。
これで、ワンタッチセッティングが「オン」になります。



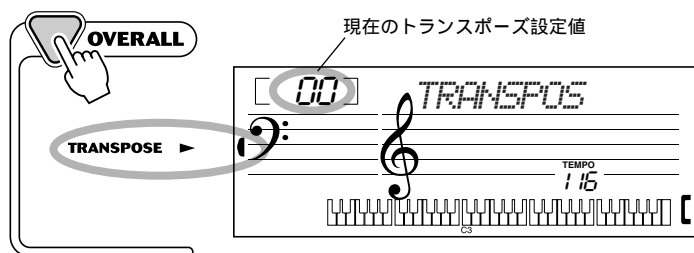
メモ

・楽器ナンバー「000」が選ばれている状態で、ソングや伴奏を選ぶと、最適の音色が自動的に選ばれます。

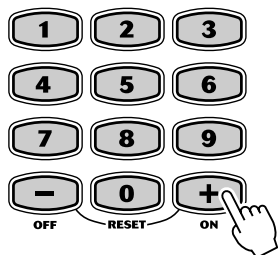
トランスポーズ

楽器全体の音程(トランスポーズ)を変更します。

1 [OVERALL] ボタンを押して、「TRANSPOSE」を選びます。



2 数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して、トランスポーズの値を - 12 ~ 12(単位: 半音、± 1 オクターブ)の範囲で変更します。



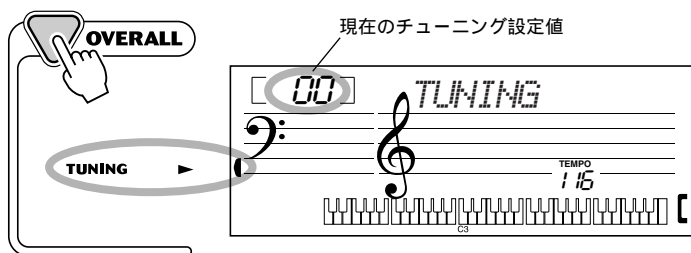
メモ

- ・数字ボタン[+]、[-]を同時に押すと、初期設定値の「00」に戻ります。
- ・楽器に#088、#098、#099、#100、を選んだ場合、トランスポーズはかかりません。
- ・ソングの再生中は、トランスポーズの変更はできません。
- ・トランスポーズ変更後、次に弾いた音から新しく設定したトランスポーズで発音します。
- ・マイナスの値を設定するときは、数字ボタン[-]を押しながら数字ボタン[0]~[9]で設定します。

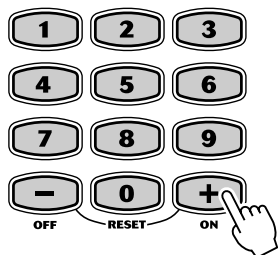
チューニング

楽器全体をチューニング(ピッチ[音程]の微調整)します。

1 [OVERALL] ボタンを押して、「TUNING」を選びます。



2 数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して、チューニングの値を - 50 ~ 50(単位:セント)の範囲で変更します。



メモ

- ・チューニングの単位: 半音 = 100セント
- ・数字ボタン[+], [-]を同時に押すと、初期設定値の「00」に戻ります。
- ・マイナスの値を設定するときは、数字ボタン[-]を押しながら数字ボタン[0]~[9]で設定します。



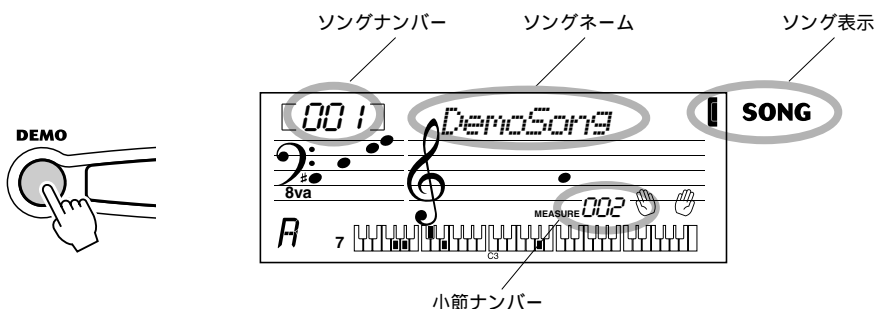
ソングを聞くには...

PSR-170には、バラエティー豊かなソングが100曲入っています。好きなソングを探して聞いてみましょう。

5曲のデモソングを連続して聞くには...

[DEMO]ボタンを押します。

5曲のデモソングをソングナンバー順に、連続して再生します。



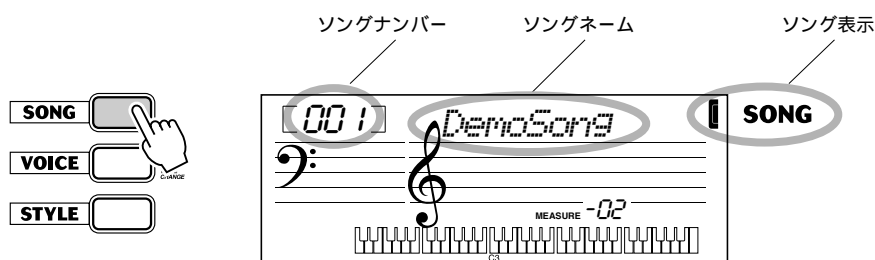
メモ

- ・[DEMO]ボタンを押したあと、ある曲を選ぶと、そのカテゴリー曲を順番に演奏します。たとえば、ピアノ曲を聞いた場合は、[DEMO]ボタンを押したあと、数字ボタンで「006」を選びます。
- ・[DEMO]ボタンを押しながら電源を入れると、デモソングが鳴らなくなります。(デモキャンセル) 電源を入れ直すと、通常の状態に戻ります。

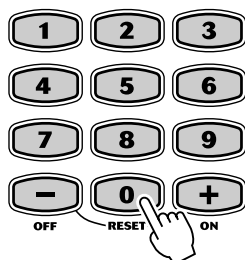
[START/STOP]ボタン、または[DEMO]ボタンを押すと、ソングがストップします。

100曲のソングから一曲を選んで聞くには...

1 [SONG]ボタンを押します。



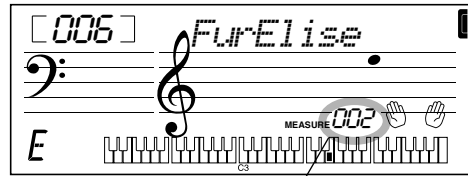
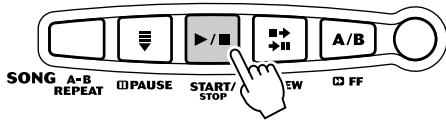
2 数字ボタン[0]～[9], [+], [-]でナンバーを選びます。
ナンバーの選びかた(21ページ参照)



ソングを聞くには...

3 [START/STOP]ボタンを押します。

ソングがスタートします。ソングに合わせて鍵盤で演奏できます。
もう一度[START/STOP]ボタンを押すと、ソングがストップします。



小節ナンバー

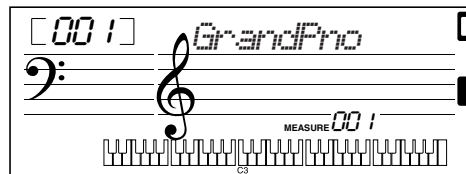
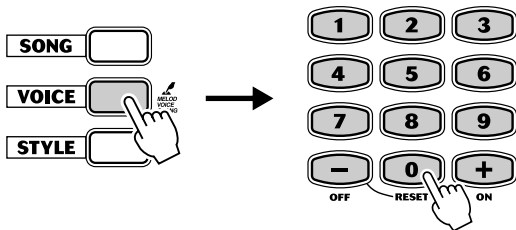
■ テンポの設定.....

テンポを変更する場合は、[TEMPO/TAP]ボタンを押して、数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]を使って変更します。または、タップ機能を使ってテンポを設定します。(33ページ参照)

メロディ音色の変更

ソングのメロディ音色を、PSR-170の100音色から選択することができます。

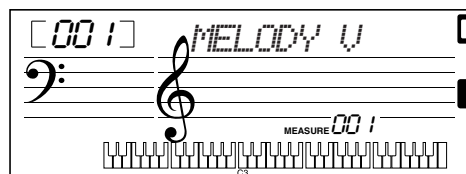
1 ソングを聞いているとき、メロディ音色を変更したい場合は、[VOICE]ボタンを押し、数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]で好みの楽器を選びます。



鍵盤は、選ばれた楽器で鳴ります。

2 [VOICE]ボタンを1秒以上押し続けます。

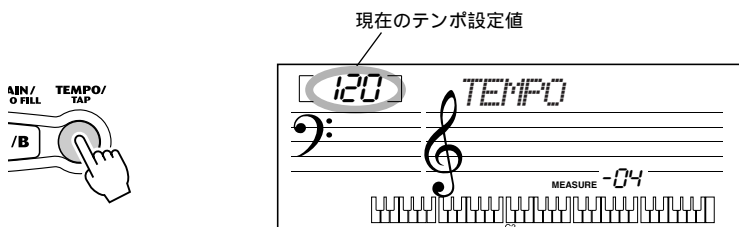
「MELODY VOICE CHANGE」とディスプレイに表示されたあと、ソングのメロディ音色が選んだ楽器に変わります。



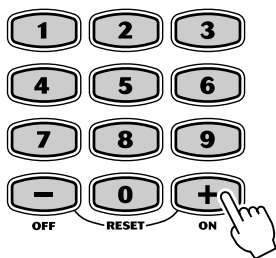
テンポの調整

ソング/伴奏のテンポを「♩=40～240(1分間の4分音符の数)」の範囲で調整します。

1 [TEMPO/TAP] ボタンを押します。



2 数字ボタン[0]～[9], [+], [-]を押して、テンポを変更します。



メモ

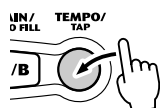
- ・リズムがストップしているときに伴奏を選ぶと、その伴奏に最適なテンポが自動的に設定されます。リズム演奏中に伴奏を変更した場合は、テンポは変わりません。
- ・ソングを選ぶと、そのソングに最適なテンポが自動的に設定されます。
- ・数字ボタン[+], [-]を同時に押すと、現在選ばれているソング/伴奏に最適なテンポ値が設定されます。

ビートディスプレイについて
メトロノームを鳴らしているときは、ビート(拍)を表示します。

	小節の頭の拍を表します。 (ダウンビート)
	裏拍を表します。 (アップビート)
	小節の頭以外の ダウンビートを表示します。

■ タップ機能.....

ボタンを押したタイミングでテンポを設定できます。
4拍子なら4回、3拍子なら3回、自分の感覚で[TEMPO/TAP]ボタンを押します。



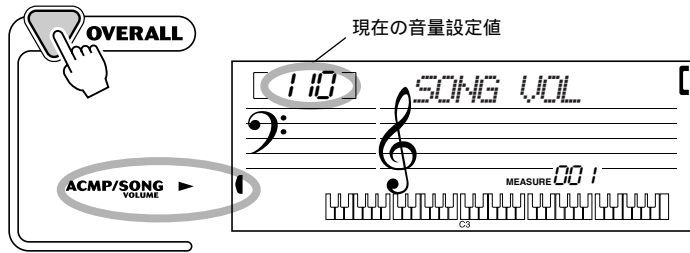
メモ

- ・タップ機能は、ソング/伴奏再生中でも使うことができます。

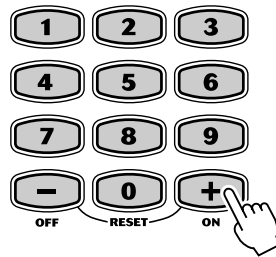
ソング音量

ソングの音量を変更して、鍵盤演奏とのバランスをとります。

1 [OVERALL] ボタンを押して、「ACMP/SONG VOLUME」を選びます。



2 数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して、ソングの音量を000~127の範囲で変更します。

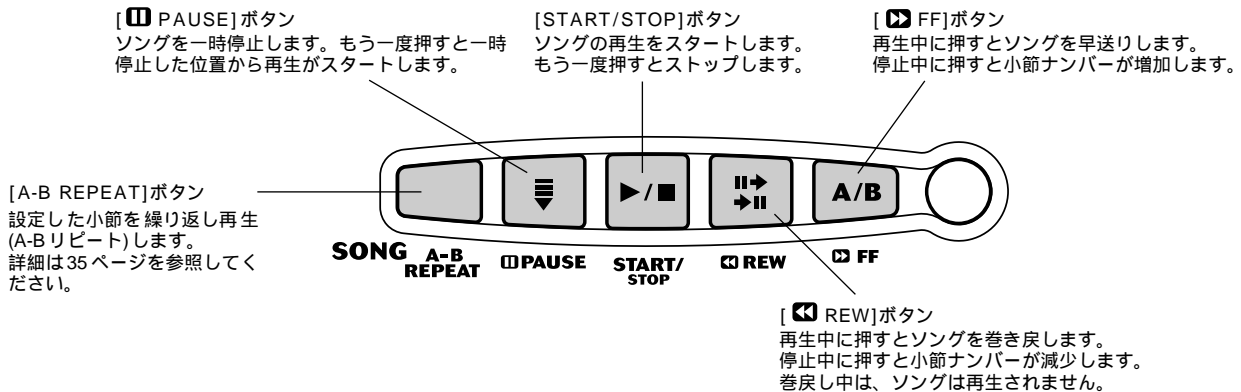


メモ

- ・数字ボタン[+], [-]を同時に押すと、初期設定値の「110」に戻ります。
- ・STYLEが選ばれている時は、ソングボリュームを変更することはできません。

ソングコントロール

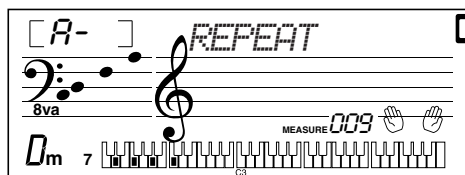
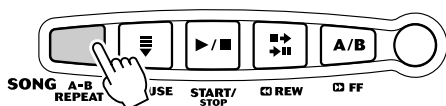
下記のボタンを押して、テープレコーダーのようにソングを操作することができます。



くり返し練習

自分が練習したいソングの一部分「A(リピートの始まり)」、「B(リピートの終り)」を設定して、その間の演奏を繰り返し再生します。

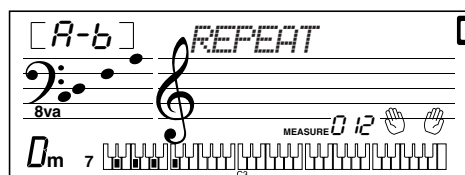
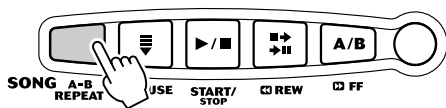
- 1 ソングの再生中に[A-B REPEAT] ボタンを押して、くり返し練習の開始位置(A)をマークします。
ディスプレイに「A- REPEAT」が表示されます。



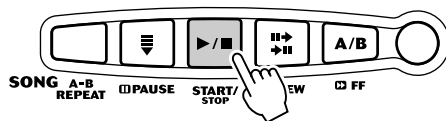
- 2 くり返し練習の終了位置になったら、[A-B REPEAT] ボタンを押して (B) をマークします。
ディスプレイに「A-b REPEAT」が表示され、A-B 間が繰り返し再生されます。



・くり返し練習は、小節単位でリピートします。



- 3 [START/STOP] ボタンを押して、ソングをストップします。
もう一度[START/STOP]ボタンを押すと、再びくり返し練習が始まります。

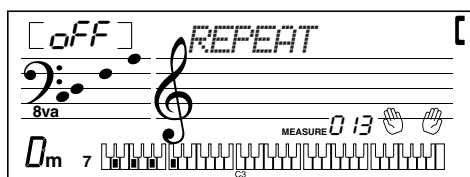


■ くり返し練習のキャンセル.....

[A-B REPEAT] ボタンを押すと、くり返し練習はキャンセルされ、ディスプレイに「off REPEAT」が表示されます。
くり返し練習(再生)中にキャンセルすると、そのまま通常の再生を続けます。



- ・ソングナンバーを変えると、くり返し練習はキャンセルされます。
- ・STYLEに移ると、くり返し練習はキャンセルされます。
- ・停止中でも[REW], [FF]ボタンで小節を設定できます。
- ・開始位置(A)を曲の先頭に設定したい場合、ソングをスタートする前に[A-B REPEAT]ボタンを押します。





ソングを弾いてみましょう(ソングレッスン)

気に入ったソングを選んで、右手・左手別々に3段階のソングレッスンをすることができます。右手パートを練習するときは[R]ボタン、左手パートを練習するときは[L]ボタンを押します。

レッスン方法について

[L]/[R]ボタンを押すたびに、ディスプレイが以下のように切り替わり、レッスン方法を選択できます。

レッスン1：タイミング

鍵盤を弾くタイミングを練習します。

レッスン2：ウェイティング

音符どおりに正しく鍵盤を弾く練習をします。

レッスン3：マイナスイオン

伴奏に合わせて、音符どおりに弾く練習をします。

レッスン4：ボースハンド

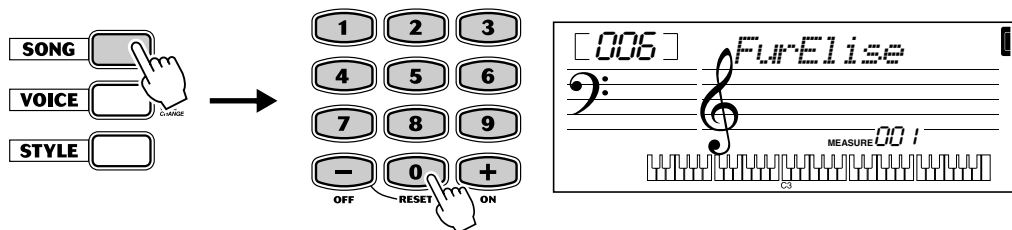
音符どおりに両手で弾く練習をします。

[L]/[R]ボタンを押して機能切り替えが一周すると、ソングレッスンを終了します。

レッスンを始めましょう

1 レッスン曲を選びます。

[SONG]ボタンを押し、数字ボタン[0]~[9],[+],[−]で、レッスン曲(ソングナンバー001~100)を選びます。



練習曲は以下のジャンルに分かれ、100曲入っています。

SONG

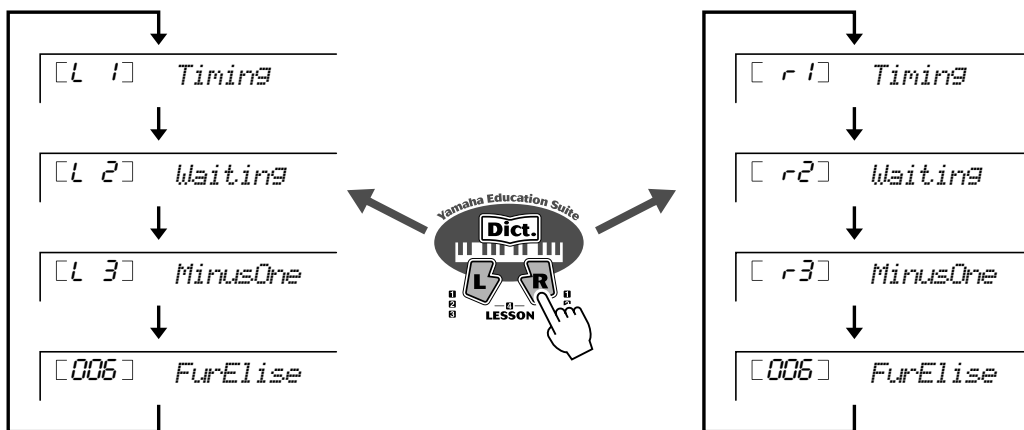
001~005 DEMONSTRATION
LESSON
006~035 PIANO/CLASSICAL
036~075 WORLD
076~080 CHRISTMAS
081~100 DJ GAME

2 レッスン方法を選びます。

右手を練習したいときは[R]ボタン、左手を練習したいときは[L]ボタンを押します。ボタンを押すごとに、レッスン1 レッスン2 レッスン3 「オフ」 レッスン1・・・の順番で変わり、ディスプレイにレッスン名が表示されます



・音声ガイドが「オン」のときは、レッスン名を教えてください。



レッスン4を選ぶときは、[L]と[R]ボタンを同時に押します。



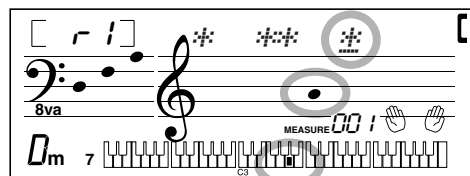
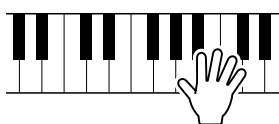
[Lr4] BothHand



・DJソングが選ばれているときは、右手と左手の区別はありません。

3 レッスンを始めましょう。

レッスン方法を選ぶと同時に、レッスン曲がスタートします。スタートすると、最初に弾く音が、ディスプレイに表示されます。表示にしたがって練習しましょう。



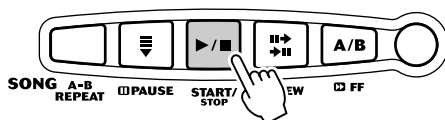
・鍵盤の押すタイミングを、*で表示します。一行は一小節を表します。

・* → ##

同じ位置に“#”(シャープ)が表示された場合は、16分音符以下のタイミングで弾きます。

4 レッスを終わるには...

[START/STOP]ボタンを押すと、レッスン曲が止まり、レッスンは終わります。



ソングを弾いてみましょう(ソングレッスン)

レッスン1(タイミング)

鍵盤を弾くタイミングを練習しましょう。

練習するパートのリズムに合わせて、右手パートのレッスンでは演奏鍵域(F#2より右側)、左手パートのレッスンでは伴奏鍵域の鍵盤を弾きます。

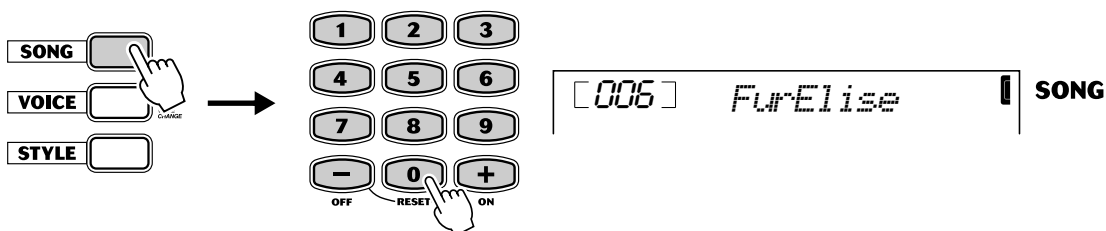
レッスン1では、鍵域内の鍵盤であれば、どの鍵盤でもかまいません。

メモ

・リズムに合わせてタイミングよく鍵盤を弾くと、メロディ音が鳴ります。

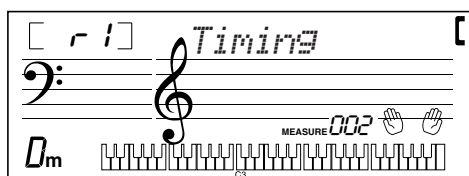
1 練習したい曲を選びます。

[SONG] ボタンを押し、数字ボタン[0]~[9], [+], [-]で、レッスン曲を選びます。



2 レッスン1を選びます。

右手を練習したいときは[R] ボタン、左手を練習したいときは[L] ボタンを押して、レッスン1を選びます。

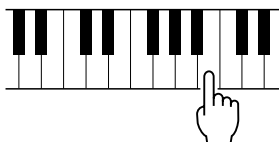


各ボタンを押すごとに、レッスン1 レッスン2 レッスン3 「オフ」の順番で変わり、ディスプレイにレッスン名が表示されます。

レッスン4を選ぶときは、[L]と[R]ボタンを同時に押します。

3 レッスンをスタートします。

レッスン1を選ぶと、レッスンが自動的にスタートします。弾く音の音符と鍵盤位置がディスプレイに表示されます。リズムに合わせて好きな鍵盤を弾いて練習しましょう。



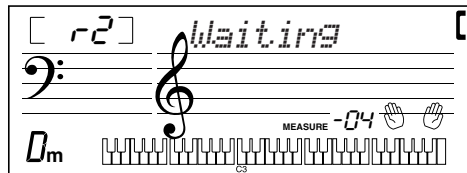
レッスン2(ウェイティング)

ディスプレイの音符どおりに正しく弾く練習をしましょう。
 ディスプレイには、押さえる鍵盤と音符が表示されます。正しい鍵盤が押されると、次に押さえる鍵盤と音符がディスプレイに表示されます。
 伴奏は、正しい鍵盤が押されるまで待っていてくれます。

1 レッスン曲を選びます。

2 レッスン2を選びます。

[L]または[R]ボタンを押して、レッスン2を選びます。



3 レッスンをスタートします。

レッスン2を選ぶと、レッスンが自動的にスタートします。弾く音の音符と鍵盤位置がディスプレイに表示されます。音符どおりに正しい鍵盤を弾いて練習しましょう。

ソングを弾いてみましょう(ソングレッスン)

レッスン3(マイナスイワン)

ソングのテンポで音符どおりに弾く練習をしましょう。

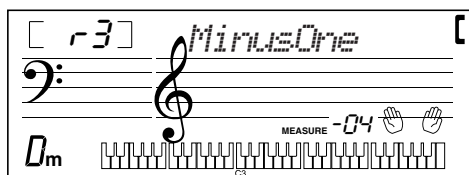
練習しているパート(右手/左手)以外の伴奏が鳴り、ソングの進行に合わせて、弾く音の音符と鍵盤位置がディスプレイに表示されます。

伴奏に合わせて右手/左手の練習をしましょう。

1 レッスン曲を選びます。

2 レッスン3を選びます。

[L]または[R]ボタンを押して、レッスン3を選びます。



3 レッスンをスタートします。

レッスン3を選ぶと、レッスンが自動的にスタートします。弾く音の音符と鍵盤位置がディスプレイに表示されます。弾くパートだけが鳴らずに曲が進んでいきますので、曲をよく聞いて弾く練習をしましょう。

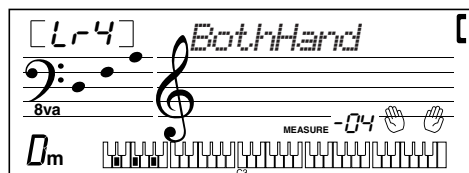
レッスン4(ボースハンド)

レッスン3と同様のマイナスイワンレッスンを両手で行ないます。レッスン1～3で片手ずつの演奏ができるようになったら、レッスン4を選び両手で弾く練習をします。

1 レッスン曲を選びます。

2 レッスン4を選びます。

[L]と[R]ボタンを同時に押します。



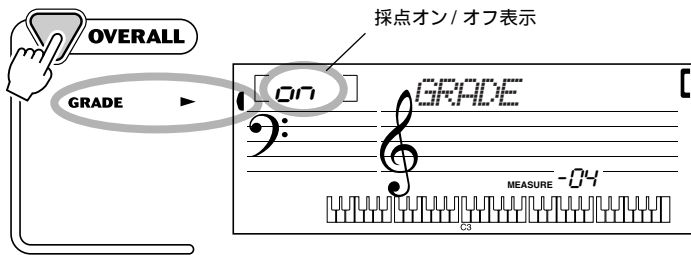
3 レッスンをスタートします。

レッスン4を選ぶと、レッスンが自動的にスタートします。弾く音の音符と鍵盤位置がディスプレイに表示されます。

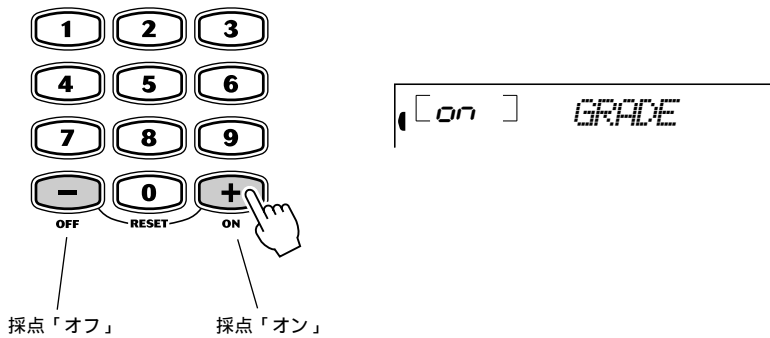
採点機能

レッスンでの結果を、PSR-170が4段階で評価する機能です。
 レッスン終了後、ディスプレイに「OK」、「Good」、「Very Good」、「Excellent」のいずれかを表示します。音声ガイドが「オン」になっていれば、人の声でも教えてくれます。

1 [OVERALL] ボタンを押して、「GRADE」を選びます。



2 [+ /ON] ボタンを押して、採点機能を「オン」にします。



レッスン終了後、ディスプレイに採点中のバーが表示され、そのあとに、採点結果が表示されます。

Excellent
 Very Good
 Good
 OK

メモ

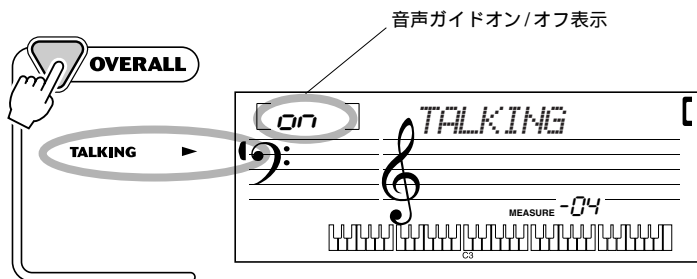
・電源を入れたとき、採点機能は「オン」になっています。採点機能を「オフ」にしたいときは、[- /OFF]ボタンで「オフ」にします。



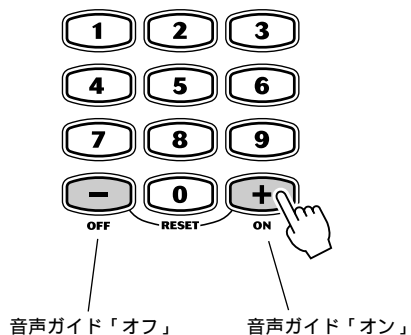
音声ガイドを活用する

ボタンの機能名や、いろいろなメッセージを音声で知らせる機能です。

1 [OVERALL] ボタンを押して、「TALKING」を選びます。



2 [+ /ON] ボタンを押して、音声ガイドを「オン」にします。



メモ

・電源を入れたとき、音声ガイドは「オン」になっています。音声ガイドを消したいときは、[- /OFF]ボタンで「オフ」にします。

[音声ガイドリスト]

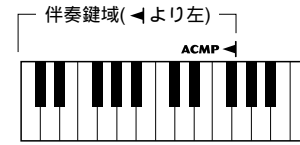
DJ
ディクショナリー
レッスン 1~4
レッスン オフ
オーケー
グッド
ベリーグッド
エクセレント



伴奏に合わせて演奏するには...

伴奏って何？

PSR-170には、100種類の伴奏が入っています。
伴奏機能を使用すると、選択した伴奏と伴奏鍵域で押さえられたコードに合わせて、伴奏(ベース音とコード音)が自動的に演奏されます。

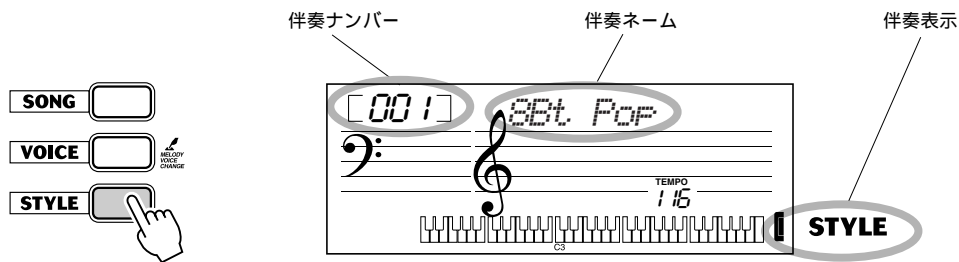


好みの伴奏を選び、伴奏機能を使って演奏してみましょう。

伴奏を選びます。	伴奏を選ぶ.....	43 ページ
↓		
伴奏をスタートします。	伴奏のスタート.....	44 ページ
↓		
コード(左手)を演奏します。	伴奏コードの押さえ方.....	46 ページ
↓		
メロディ(右手)を演奏します。	伴奏に合わせてメロディ演奏.....	49 ページ
↓		
伴奏パターンを切り替えます。	伴奏パターンの切り替え.....	50 ページ
↓		
伴奏をストップします。	伴奏のストップ.....	45 ページ

伴奏を選ぶ

1 [STYLE] ボタンを押します。



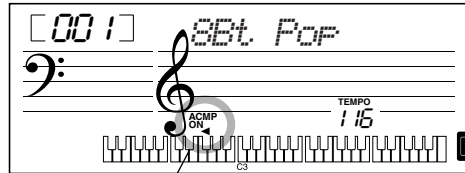
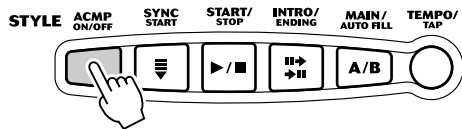
2 数字ボタン[0] ~ [9], [+], [-]で伴奏ナンバーを選びます。
ナンバーの選びかた(21ページ参照)



・リズムがストップしているときに伴奏を選ぶと、その伴奏に最適なテンポが自動的に選ばれます。ただし、リズム演奏中に伴奏を変更しても、テンポは変わりません。

伴奏のスタート

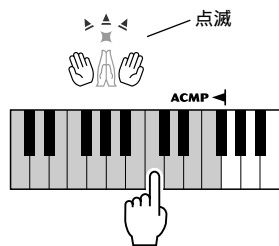
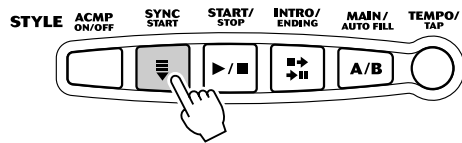
[ACMP ON/OFF] ボタンを押して、伴奏を「オン」にします。
伴奏のスタート方法には、次の3種類があります。



オンのとき表示します

■ シンクロスタート.....

[SYNC START] ボタンを押すと、手拍子アイコンが点滅します。
伴奏鍵域でコードを弾くと同時に、伴奏(シンクロ)がスタートします。

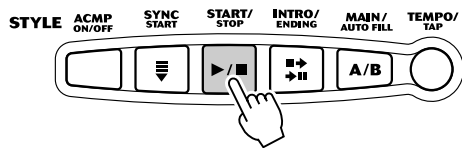


メモ

・シンクロスタート待機状態で、もう一度[SYNC START]ボタンを押すと、シンクロスタート待機状態は解除されます。この状態で、伴奏鍵域の鍵盤でコードを押さえると、リズムなしのベース音とコード音(和音)が鳴ります。

■ スタート.....

[START/STOP] ボタンを押すとリズムがすぐにスタートします。
伴奏鍵域でコードを弾くと、ベースやコードパートなどの演奏が付きます。

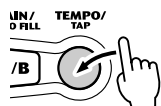


メモ

・[START/STOP] ボタンを押すと、選ばれている伴奏のリズムだけがスタートします。また、伴奏ナンバー 081 ~ 100(伴奏カテゴリー：ピアニスト)が選ばれている場合は何も鳴りません。

■ タップスタート.....

ボタンを押すタイミングで(テンポ)リズムがスタートします。
4拍子なら4回、3拍子なら3回、自分の感覚で[TEMPO/TAP]ボタンを押します。



メモ

・タップ機能は、ソング / 伴奏再生中でも使うことができます。

イントロシンクスタート

[SYNC START]ボタンを押すとシンクスタート待機状態になり、ビート表示が点滅します。

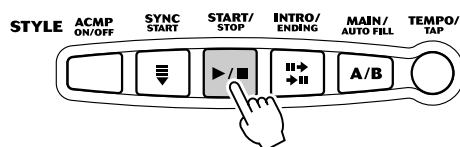
[INTRO/ENDING]ボタンを押すと、イントロ伴奏パターンで始まるシンクスタート待機状態になります。

伴奏鍵域でコードを弾くと、イントロ伴奏パターンで始まる伴奏がスタートし、イントロのあと、メインA(またはB)伴奏パターンへ移行します。(50ページ参照)

伴奏のストップ

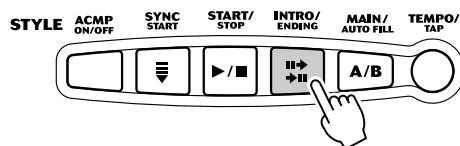
伴奏のストップ方法には、以下の2種類があります。

■ ストップ



■ エンディング

曲の最後に[Intro/ENDING]ボタンを押すと、曲の終り(エンディング)にふさわしいフレーズになり、演奏が自動的にストップします。



リタルダンド

エンディング演奏中に[Intro/ENDING]ボタンを押すと、演奏にリタルダンド(だんだん遅くなる)がかかり、ストップします。

■ テンポの設定

テンポを変更する場合は、[TEMPO/TAP]ボタンを押して、数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を使って変更します。または、タップ機能を使ってテンポを設定します。(33ページ参照)

伴奏コードの押さえ方

基本的な押さえ方として、シングルフィンガーとフィンガードの2種類があります。PSR-170は、どちらを使用してもコードを自動的に判断するマルチフィンガリングという機能を使用しています。

シングルフィンガーコードの簡単な押さえ方
 フィンガード通常のコードの押さえ方

鍵盤の(◀)より左の伴奏鍵域でコードを弾いてください。

■ シングルフィンガー.....

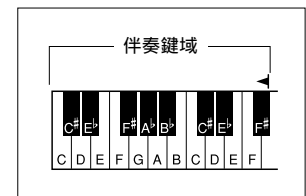
伴奏鍵域で、3本以内の指を使って、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを演奏することができます。



- ・ルートキー(根音)と押さえる鍵盤

シングルフィンガーのコードの押さえ方

<p>C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メジャー(M)コード ルートキー(根音)を押さえてください。 	<p>C7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セブンス(7)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の白鍵を同時に押さえてください。
<p>Cm</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナー(m)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵を同時に押さえてください。 	<p>Cm7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナーセブンス(m7)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。



■ フィンガード.....

伴奏鍵域でコードを押さえると、自動的にコード名を検出し、伴奏を演奏します。



- ・左図でカッコ()内の鍵盤は押さえなくてもかまいません。
- ・コードはすべて基本形で書かれていますが、その転回形も可能です。ただし、以下の場合を例外とします。
 - ・m6とm7♭5はインターバルが同じです。押鍵の最低音がm6の根音になっている場合m6とみなし、それ以外の転回形はm7♭5とみなします。
 - ・aug、dim(7)は押鍵の最低音を根音とみなします。
 - ・7♭5は押鍵の最低音を、根音または♭7とみなします。
 - ・7augはaug、dim7はdimとみなします
- ・「Bm6」「B♭m6」「Baug」は認識されません。

フィンガードで認識されるコードの押さえ方(基本形)

[Cの押鍵例]

C 	Cm 	Caug(7aug) 	Cdim(dim7)
Csus4 	C7 	Cm7 	CM7
CmM7 	C7♭5 	Cm7♭5 	C7sus4
Cm6 	C(9) 		



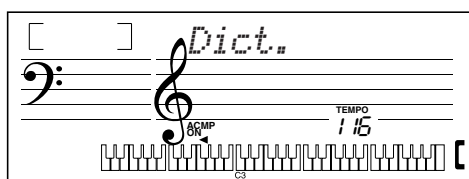
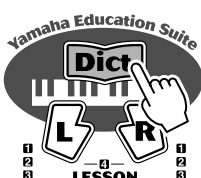
コードを調べよう

コード名がわかっていて鍵盤の押さえ方がわからない場合、ディクショナリー機能を使います。

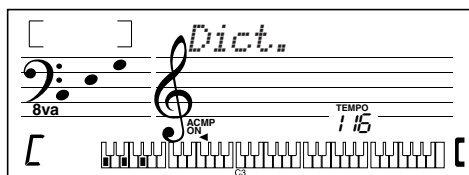
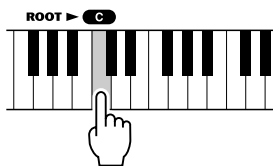
ディクショナリーでコードを調べよう

楽譜に書かれたコードの押さえかたを、ディスプレイで知ることができます。

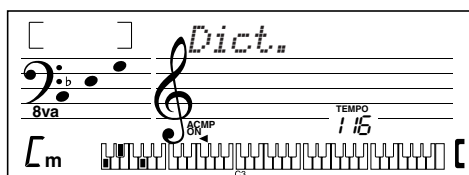
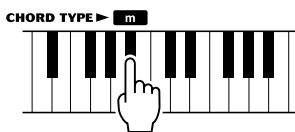
1 [Dict.]ボタンを押します。



2 たとえば「Cm」の押さえ方を調べるときは、以下の手順で操作します。
鍵盤の上に書かれた「ROOT ▶」から「C」鍵盤を押します(音は鳴りません)。設定されたルート音がディスプレイに表示されます。



3 鍵盤の上に書かれた「CHORD TYPE ▶」から「m」(マイナー)の鍵盤を押します(音は鳴りません)。指定したコード(ルート音+コードタイプ)の押さえ方が、ディスプレイに音符表示と鍵盤イラストで表示されます。



このようにコードルートとタイプを入力すれば、そのコードの構成音や押さえ方がわかります。

ディスプレイにしたがって、左手でコードを押さえてみましょう。コードを正しく押さえると、コード名が点滅します。

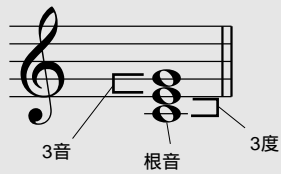


・BM7のように音符が「 \sharp 」と「 \flat 」または「 \sharp 」と「 \flat 」でとなりあっている場合、ディスプレイの制約で音符表示ができない場合があります。

■ コード(和音)について

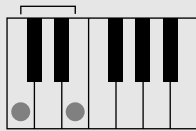
音を2つ以上組み合わせて同時に鳴らしたものを「和音(コード)」と呼びます。

「ド・ミ・ソ」のように、ある音の3度上の音と、さらにもう3度上の音を同時に鳴らすと、良い響きがします。このような形の和音を特に「三和音」と呼び、確実によく響き、音楽の中で非常に重要な役割を果たします。

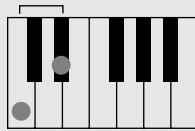


上の例で三和音の一番下の音を「根音」と呼びます。これは和音を支える中心的な存在です。この根音の上に2つの「3度の音」が重なりますが、3度の音には「長3度と短3度」の2種類があります。

長3度...半音4つの間隔

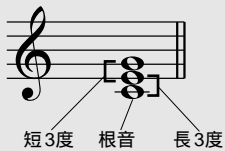


短3度...半音3つの間隔

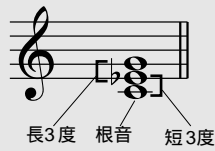


その組み合わせは次の4種類になります。

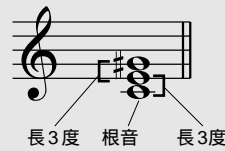
メジャーコード



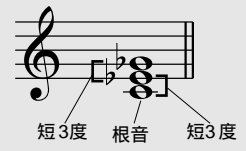
マイナーコード



オーギュメントコード



ディミニッシュコード



和音は、3つの構成音の順番を入れ替えたり、構成音をオクターブ違いで重ねても、響きの基本的な性格は変わりません。種類の違う和音をさまざまな姿に変えながら一定の法則に基づいて連結していくと、美しいハーモニーが生まれます。音楽はハーモニーに基づいて成り立っています。

和音の表記について

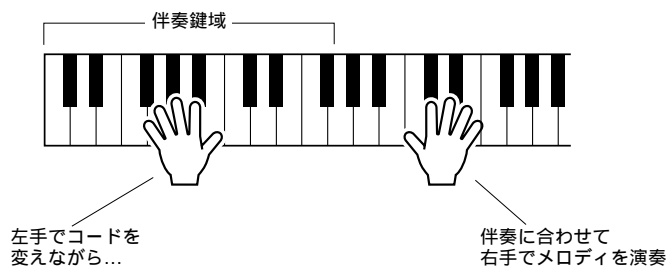
和音の構成音や、その種類を一目でわかるように工夫したものがコードネームです。コードネームのしくみがわかると、音符を見ながら簡単に和音を弾けるので大変便利です。



和音の種類(フィンガードで認識されるものの一部)

<p>C</p> <p>短3度 長3度</p>	<p>Cm</p> <p>短3度 長3度</p>	<p>Caug</p> <p>長3度 長3度</p>	<p>Cdim</p> <p>短3度 短3度</p>	<p>Csus4</p> <p>完全5度 完全4度</p>
<p>C7</p> <p>短7度 メジャーコード</p>	<p>Cm7</p> <p>短7度 マイナーコード</p>	<p>CM7</p> <p>長7度 メジャーコード</p>	<p>CmM7</p> <p>長7度 マイナーコード</p>	<p>C7♭5</p> <p>減5度 セブンスコード</p>
<p>Cm7♭5</p> <p>短7度 ディミニッシュコード</p>	<p>C7sus4</p> <p>短7度 サスフォーコード</p>	<p>Cm6</p> <p>長6度 マイナーコード</p>	<p>C(9)</p> <p>メジャーコード 長9度</p>	

伴奏に合わせてメロディ演奏



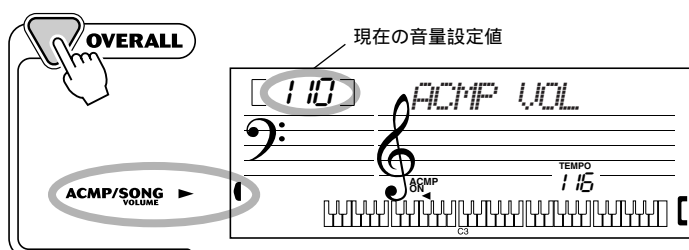
メモ

・自分の演奏しやすいテンポに設定しましょう。(33ページ参照)

■ 伴奏音量の設定.....

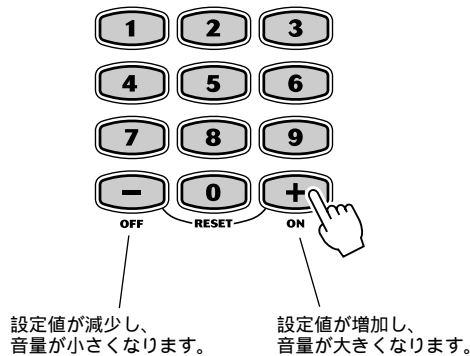
伴奏全体の音量を調節して、鍵盤演奏とのバランスをとります。

① [OVERALL] ボタンを押して、「ACMP/SONG VOLUME」を選びます。



コードを調べよう

- ② 数字ボタン[0]～[9], [+], [-]を押して、伴奏の音量を000～127の範囲で変更します。

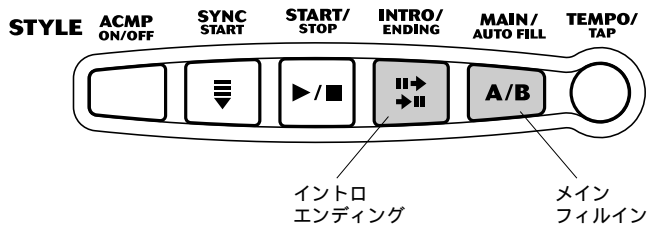


メモ

- ・伴奏音量は STYLE が選ばれているとき、設定できます。
- ・数字ボタン[+], [-]を同時に押すと、初期設定値の「110」に戻ります。

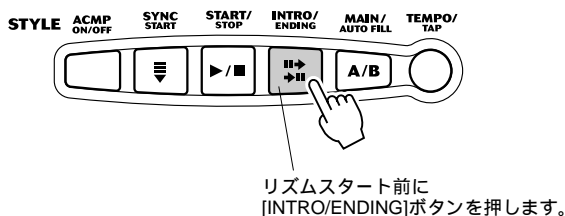
伴奏パターンの切り替え

伴奏には、イントロ、メインA/B、フィルイン、エンディングの伴奏パターンがあります。曲に合わせて切り替えることにより、表情豊かな演奏をすることができます。



■ イントロ.....

曲のスタート前にこのボタンを押すと、曲の始まり(イントロ)にふさわしいフレーズでスタートします。イントロの演奏が終了すると、メインに移行します。

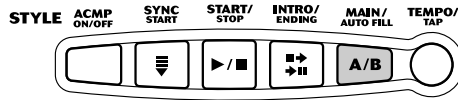


「INTRO A(B)」表示中に [MAIN/AUTO FILL] ボタンを押すと、イントロ演奏後のメインを変更できます。

「INTRO A(B)」表示中にもう一度 [INTRO/ENDING] ボタンを押すと、イントロがキャンセルされ、ディスプレイにはスタート後に演奏されるメイン「MAIN A(B)」が表示されます。

■ メイン.....

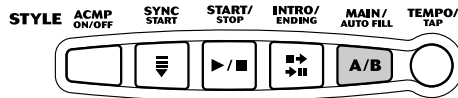
メインには、A/B2つのバリエーションがあります。伴奏演奏中に[MAIN/AUTO FILL]ボタンを押して切り替えます(切り替え時に自動的にフィルインが演奏されます)。



スタート前(リズム停止中)に[MAIN/AUTO FILL]ボタンを押すと、スタートしたときのバリエーション(A/B)が設定できます。

■ フィルイン.....

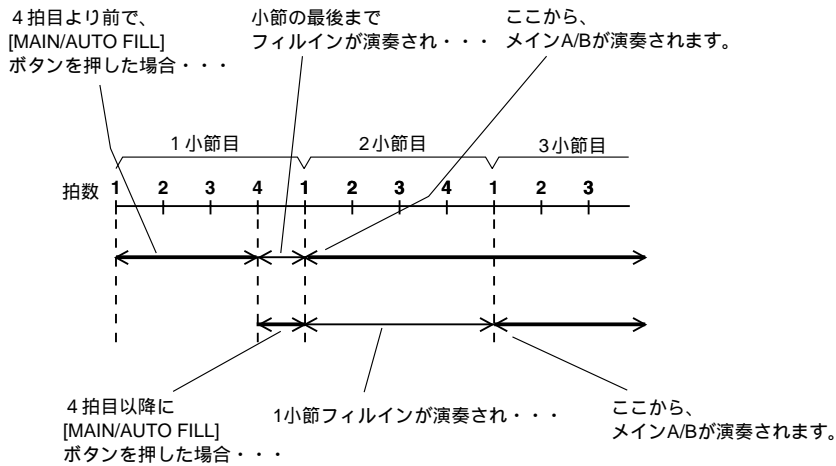
フィルインは曲の流れに区切りをつけて演奏を盛り上げます。演奏中に [MAIN/AUTO FILL] ボタンを押すと、演奏状況に応じて最適なフィルインが自動的に演奏され(自動フィルイン)、伴奏にアクセントを付けることができます。



メモ

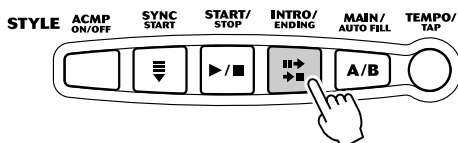
- ・伴奏ナンバー 081 ~ 100(伴奏カテゴリー：ピアニスト)が選ばれている場合は、フィルインは演奏されません。
- ・[MAIN/AUTO FILL] ボタンを押し続けると、フィルインが繰り返し演奏されます。

フィルインを押すタイミング



■ エンディング.....

曲の最後にこのボタンを押すと、曲の終り(エンディング)にふさわしいフレーズを演奏して終わります。



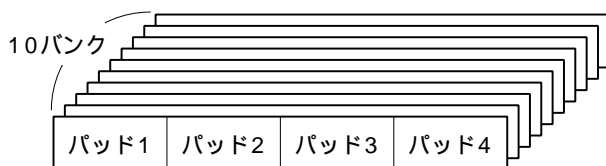
メモ

- ・[INTRO/ENDING] ボタンを押すと、次の小節からエンディングが演奏されます。
- ・エンディング演奏中に [INTRO/ENDING] を押すと、演奏にリタルダンドがかかります(だんだん遅くなってストップします)。



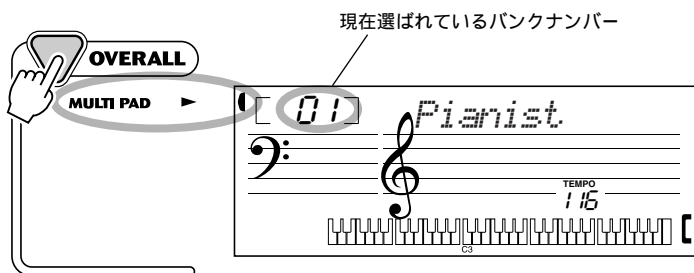
マルチパッドを鳴らすには...

PSR-170のマルチパッドには、40種類(4パッド×10バンク)のフレーズやドラムサウンドなどが入っています。演奏中にパッドを押すだけで、それらのフレーズやサウンドを鳴らすことができます。

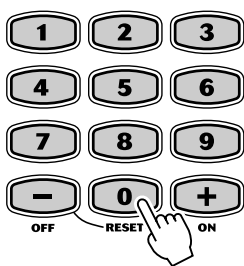


マルチパッドバンクの選びかた / 鳴らしかた

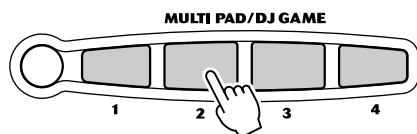
1 [OVERALL] ボタンを押して、「MULTI PAD」を選びます。



2 数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して、バンクを選びます。(58ページ「マルチパッドリスト」参照)



3 MULTI PAD[1]~[4]を押すと、そのパッドの演奏が始まります。



メモ

- ・DJゲームを演奏中、マルチパッドは鍵盤と同じ機能になります。
- ・マルチパッドの中には伴奏鍵域で検出されたコードに合わせて鳴るものもあります。



MIDIを使うとこんなことができる

PSR-170のリアパネルにはMIDI端子 (MIDI IN/MIDI OUT)があります。MIDI機能を活用することにより、PSR-170の機能を拡張することができます。

MIDIについて

MIDI(ミディ)とは、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし(または、コンピューターなどと)で演奏情報のやりとりを行なうために生まれた世界共通の規格です。複数のMIDI楽器(機器)をケーブルで接続すれば、機器間でさまざまな演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。

- MIDI IN端子 他のMIDI機器からMIDI信号を受信します。
- MIDI OUT端子 PSR-170の演奏情報をMIDI信号として他のMIDI機器へ送信します。



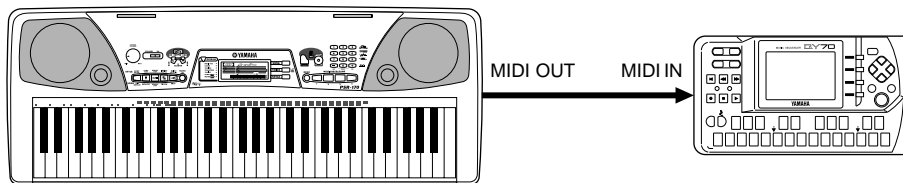
IN — MIDI — OUT



- ・MIDI機器の接続には専用のMIDIケーブル(別売)が必要です。楽器店などでお買い求めください。
- ・長いケーブルを使用すると、エラーが生じる場合があります。ケーブルは15m以内のものをご使用ください。

MIDIを使ってできること

PSR-170のMIDI OUT端子と、他のMIDIシーケンサーのMIDI IN端子を接続

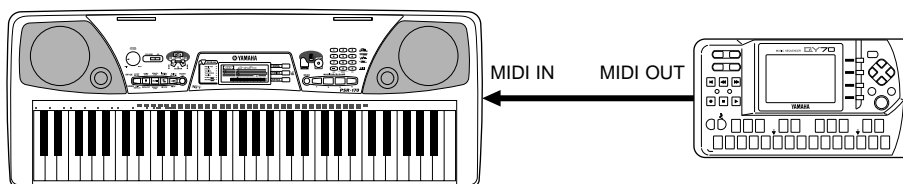


PSR-170の演奏(キーオン/キーオフ)をMIDIシーケンサーに録音できます。



- ・演奏を録音する前に、現在の楽器の設定状態をシーケンサーに録音しておく、再生のとき、録音したときと同じ状態で再生されます。
- ・録音のとき、[ACCOMPANIMENT ON/OFF]ボタンを1~2回押し楽器の設定状態を送信(録音)してから、演奏を開始します。

PSR-170のMIDI IN端子と、他のMIDIシーケンサーのMIDI OUT端子を接続



MIDIシーケンサーに録音した演奏を、PSR-170で再生します。



- ・PSR-170は独自の音色配列を採用しています。PSR-170の演奏をMIDIシーケンサーに録音した場合、再生時にもPSR-170を使用することをおすすめします。他の音源などでは正しく再生されない場合があります。
- ・SONGでは、MIDIデータを送受信できません。
- ・外部音源では、オクターブ移動して再生する場合があります。
- ・デュアル音色は外部ではたらかない場合があります。



楽器リスト

■ 最大同時発音数について.....

PSR-170の最大同時発音数は16音ですが、デュアル音色やスプリット音色、自動伴奏、ソングなどを含めたすべての発音数の合計が16音ということです。したがって自動伴奏やソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。16音以上になると、新しく押さえた音を優先して発音します。

なお、PSR-170の楽器の中には、一つの鍵盤に対して2音以上使って発音しているものがあります。各楽器ごとの使用発音数は、次のリストを参照してください。(リスト内の発音数は、その楽器の使用する最大の使用発音数を示していますが、音程によってはこれ以下の使用発音数になるものもあります。)



- ・MIDIを使ってPSR-170の楽器を鳴らす場合は、下記のプログラムチェンジナンバーを使用してください。また、必要に応じてバンクMSB/LSBを設定してください。ドラムキット以外を選ぶ場合は「バンクMSB=00H、LSB=70H」に、ドラムキット(楽器ナンバー88,100)を選ぶ場合は「バンクMSB=7FH、LSB=00H」に設定します。
- ・MIDIを使ってPSR-170の楽器を鳴らす場合、ハーモニーやエコーの効果は付きません。

[パネル楽器リスト]

NO.	プログラムチェンジナンバー	楽器名	使用発音数
ピアノ			
001	0	グランドピアノ (GRAND PIANO)	2
002	1	ホンキートンクピアノ (HONKY-TONK)	2
003	2	エレクトリックピアノ 1(E PIANO 1)	2
004	3	エレクトリックピアノ 2(E PIANO 2)	2
005	4	エレクトリックピアノ 3(E PIANO 3)	2
006	5	エレクトリックピアノ 4(E PIANO 4)	2
007	6	ハーブシコード (HARPSICHORD)	2
008	7	クラビ (CLAVI)	1
009	8	チェレスタ (CELESTA)	1
オルガン			
010	9	ビブラートオフ (VIBRATO OFF)	2
011	10	ビブラートオン (VIBRATO ON)	2
012	11	ハーモニーオフ (HARMONY OFF)	2
013	12	ハーモニーオン (HARMONY ON)	2
014	13	アタックオフ (ATTACK OFF)	2
015	14	アタックオン (ATTACK ON)	2
016	15	ウェーブオフ (WAVE OFF)	2
017	16	ウェーブオン (WAVE ON)	2
018	17	パイプオルガン (PIPE ORGAN)	2
019	18	アコーディオン (ACCORDION)	2
020	19	ハーモニカ (HARMONICA)	1
ギター/ベース			
021	20	ソフトギター (SOFT GUITAR)	1
022	21	フォークギター (FOLK GUITAR)	1
023	22	12弦ギター (12ST GUITAR)	2
024	23	ジャズギター (JAZZ GUITAR)	1
025	24	エレクトリックギター (E GUITAR)	2
026	25	ディストーションギター (DIST GUITAR)	2
027	26	ウッドベース (WOOD BASS)	1
028	27	フィンガーベース (FINGER BASS)	1
029	28	スラップベース (SLAP BASS)	1
ストリング/マレット			
030	29	ストリングス (STRINGS)	1
031	30	バイオリン (VIOLIN)	1
032	31	チェロ (CELLO)	1
033	32	ハーブ (HARP)	1
034	33	シタール (SITAR)	1
035	34	パンジョー (BANJO)	1
036	35	ビブラフォン (VIBRAPHONE)	1
037	36	マリンバ (MARIMBA)	1
038	37	スチールドラム (STEEL DRUMS)	1
ブラス			
039	38	トランペット (TRUMPET)	1
040	39	トロンボーン (TROMBONE)	1
041	40	ミュートトランペット (MUTE TRPET)	1
042	41	フレンチホルン (FRENCH HORN)	1
043	42	ブラスセクション (BRASS SECT)	1
044	43	アルトサクソ (ALTO SAX)	1
045	44	テナーサクソ (TENOR SAX)	1

NO.	プログラムチェンジナンバー	楽器名	使用発音数
046	45	オーボエ (OBOE)	1
047	46	クラリネット (CLARINET)	1
048	47	フルート (FLUTE)	1
049	48	パンフルート (PAN FLUTE)	1
シンセサイザー			
050	49	シックリード (THICK LEAD)	2
051	50	シンプルリード (SIMPLE LEAD)	1
052	51	シックソウトゥース (THICK SAW)	2
053	52	シンプルソウトゥース (SIMPLE SAW)	1
054	53	シンセベース (SYNTH BASS)	1
055	54	シンセストリングス (SY STRINGS)	1
056	55	シンセブラス (SY BRASS)	2
057	56	スローストリングス (SLOW STRS)	1
058	57	コーラス (CHORUS)	1
ハーモニー			
059	58	ピアノトリオ (PIANO TRIO)	3
060	59	ピアノカントリー (PNO COUNTRY)	2
061	60	エレピトリオ (E PNO TRIO)	3
062	61	ハーブシコードトリオ (HARPSI TRIO)	3
063	62	オルガントリオ (E ORG TRIO)	3
064	63	ビブラフォンデュエット (VIBES DUET)	2
065	64	トランペットデュエット (TRP DUET)	2
066	65	ホルンデュエット (HORN DUET)	2
067	66	クラリネットトリオ (CLARINET TR)	3
068	67	フルートデュエット (FLUTE DUET)	2
スプリット			
069	68	ウッドベース/ピアノ (WD BASS/PNO)	1
070	69	ストリングス/ピアノ (STRINGS/PNO)	1
071	70	ベース/エレピ (FN BA/E PNO)	1
072	71	ハーブ/バイオリン (HARP/VIOLIN)	1
073	72	ホルン/トランペット (HORN/TRP)	1
サステイン			
074	73	サステインピアノ (SUS PIANO)	1
075	74	サステインエレピ1 (SUS E PNO1)	1
076	75	サステインエレピ2 (SUS E PNO2)	1
077	76	サステインビブラフォン (SUS VIBRAPHONE)	1
078	77	サステインストリングス (SUS STRINGS)	1
エコー			
079	78	エコーピアノ (PIANO)	1
080	79	エコーエレクトリックピアノ (E PIANO)	1
081	80	エコーハーブシコード (HARPSICHORD)	1
082	81	エコーチェレスタ (CELESTA)	1
083	82	エコーフォークギター (FOLK GUITAR)	1
084	83	エコーバンジョー (BANJO)	1
085	84	エコービブラフォン (VIBRAPHONE)	1
086	85	エコーマリンバ (MARIMBA)	1
087	86	エコースチールドラム (STEEL DRUMS)	1
088	*1	エコードラムキット (DRUM KIT)	1
デュアル			
089	88	ピアノコンチェルト (PNO CONCE)	2
090	89	エレピコンチェルト (E PNO CONCE)	2
091	90	フェアリーランド (FAIRY LAND)	2
092	91	ムードギター (MOOD GUITAR)	2
093	92	リッチギター (RICH GUITAR)	2
094	93	ホットオルガン (HOT ORGAN)	2
095	94	エクセルバイオリン (EXCEL VIOLIN)	2
096	95	クリスタル (CRYSTAL)	2
097	96	スターシップ (STAR SHIP)	2
DJ			
098	97	DJボイス1 (DJ VOICE 1)	1
099	98	DJボイス2 (DJ VOICE 2)	1
ドラムキット			
100	*2	ドラムキット (DRUM KIT)	1

*1 MSB=7FH, LSB=00H, Prg Ch#=1

*2 MSB=7FH, LSB=00H, Prg Ch#=2

楽器リスト

ソングに使われている楽器の中には、PSR-170のパネルからは直接選べない楽器があります。次のリストの楽器はパネルから直接選択できない楽器です。これらの楽器を使用するときは、外部からPSR-170にMIDIプログラムチェンジャーを送信します。このとき、バンクを「バンクMSB=00H, バンクLSB=00H」に設定します。

[楽器リスト]

プログラム チェン ジャー ナンバー	楽器名	使用発 音数	プログラム チェン ジャー ナンバー	楽器名	使用発 音数
0	ピアノ(Piano)	1	56	トランペット (Trumpet)	1
3	ホンキートンクピアノ (Honky-tonk Piano)	2	57	トロンボーン (Trombone)	1
4	エレクトリックピアノ1(Electric Piano 1)	2	59	ミュートトランペット (Muted Trumpet)	1
5	エレクトリックピアノ2(Electric Piano 2)	2	60	フレンチホルン (French Horn)	1
6	ハーpsiコード (Harpsichord)	1	61	ブラスセクション (Brass Section)	1
7	クラビ(Clavi)	1	63	シンセブラス (Synth Brass)	1
8	チェレスタ(Celesta)	1	65	アルトサクソ (Alto Sax)	1
11	ビブラフォン (Vibraphone)	1	66	テナーサクソ (Tenor Sax)	1
12	マリンバ(Marimba)	1	68	オーボエ (Oboe)	1
16	エレクトリックオルガン1(Electric Organ 1)	2	71	クラリネット (Clarinet)	1
17	エレクトリックオルガン2(Electric Organ 2)	2	73	フルート (Flute)	1
19	パイプオルガン (Pipe Organ)	2	75	パンフルート (Pan Flute)	1
21	アコーディオン (Accordion)	1	80	リード (Lead)	1
22	ハーモニカ(Harmonica)	1	81	ソウトゥース (Sawtooth)	1
23	ウェーブオルガン (Wave Organ)	2	88	ピアノコンチェルト (Piano Concerto)	2
24	ソフトギター (Soft Guitar)	1	89	エレピコンチェルト (Electric Piano Concerto)	2
25	フォークギター (Folk Guitar)	1	90	フェアリーランド (Fairy land)	2
26	ジャズギター (Jazz Guitar)	1	91	ホットオルガン (Hot Organ)	2
27	エレクトリックギター (Electric Guitar)	1	92	ムードギター (Mood Guitar)	2
28	12弦ギター (12Strings Guitar)	2	93	エクセルバイオリン (Excel Violin)	2
29	リッチギター (Rich Guitar)	2	94	スターシップ (Star ship)	2
30	ディストーションギター (Distortion Guitar)	1	95	スロースtringス (Slow Strings)	1
32	ウッドベース (Wood Bass)	1	98	クリスタル (Crystal)	2
33	フィンガーベース (Finger Bass)	1	104	シタール (Sitar)	1
34	ミュートベース (Mute Bass)	1	105	バンジョー (Banjo)	1
36	スラップベース (Slap Bass)	1	114	スチールドラム (Steel Drums)	1
38	シンセベース (Synth Bass)	1	123	ウッドベース/ピアノ (Wood Bass / Piano)	1
40	バイオリン(Violin)	1	124	stringス/ピアノ (Strings / Piano)	1
42	チェロ(Cello)	1	125	フィンガーベース/エレクトリックピアノ (Finger Bass / Electric Piano)	1
46	ハーp(Harp)	1	126	ハーp/バイオリン(Harp / Violin)	1
49	stringス (Strings)	1	127	ホルン/トランペット (Horn / Trumpet)	1
51	シンセstringス (Synth Strings)	1			
52	コーラス(Choir)	1			



ドラムキットリスト

各パーカッション音の使用発音数は1です。

PSR-170の鍵盤 (Keyboard) の Note# と Note は、MIDI の Note# と Note よりも 1 オクターブ上になります。たとえば、NOTE#=36、Note=C1 のバスドラム 2 を鳴らしたい場合は、MIDI の Note#=24 を PSR-170 に送信します。

Alternate assign ナンバー 1, 2 が同じものは、同時に鳴らすことはできません。

		Bank MSB#		127		
		Bank LSB#		0		
		Program Change#		0		
	Keyboard		MIDI		Alternate assign	Drum Kit
	Note#	Note	Note#	Note		
	12	C -1	0	C -2		
	13	C# -1	1	C# -2		
	14	D -1	2	D -2		
	15	D# -1	3	D# -2		ハイキュー
	16	E -1	4	E -2		
	17	F -1	5	F -2		スクラッチ H
	18	F# -1	6	F# -2		スクラッチ L
	19	G -1	7	G -2		
	20	G# -1	8	G# -2		
	21	A -1	9	A -2		
	22	A# -1	10	A# -2		
	23	B -1	11	B -2		
	24	C 0	12	C -1		
	25	C# 0	13	C# -1		
	26	D 0	14	D -1		
	27	D# 0	15	D# -1		ブラッシュスラップ
	28	E 0	16	E -1		リバーシシバル
	29	F 0	17	F -1		
	30	F# 0	18	F# -1		エレクトロニックバスドラム
	31	G 0	19	G -1		
	32	G# 0	20	G# -1		エレクトロニックスネアドラム
	33	A 0	21	A -1		
	34	A# 0	22	A# -1		
	35	B 0	23	B -1		バスドラム 1
	36	C 1	24	C 0		バスドラム 2
C1	C#1	37	C# 1	25	C# 0	リムショット
D1	D#1	38	D 1	26	D 0	スネアドラム 1
E1		39	D# 1	27	D# 0	エレクトロニックフロアタム
F1	F#1	40	E 1	28	E 0	スネアドラム 2
G1	G#1	41	F 1	29	F 0	フロアタム
A1	A#1	42	F# 1	30	F# 0	1 ハイハットクローズ
B1		43	G 1	31	G 0	エレクトロニックロータム
C2	C#2	44	G# 1	32	G# 0	1 ハイハットベダル
D2	D#2	45	A 1	33	A 0	ロータム
E2		46	A# 1	34	A# 0	1 ハイハットオープン
F2	F#2	47	B 1	35	B 0	エレクトロニックミッドタム
G2	G#2	48	C 2	36	C 1	ミッドタム
A2	A#2	49	C# 2	37	C# 1	クラッシュシンバル
B2		50	D 2	38	D 1	ハイタム
C3	C#3	51	D# 2	39	D# 1	ライドシンバル 1
D3	D#3	52	E 2	40	E 1	エレクトロニックハイタム
E3		53	F 2	41	F 1	ライドシンバルカップ
F3	F#3	54	F# 2	42	F# 1	タンバリン
G3	G#3	55	G 2	43	G 1	スブラッシュシンバル
A3	A#3	56	G# 2	44	G# 1	カウベル
B3		57	A 2	45	A 1	
C4	C#4	58	A# 2	46	A# 1	
D4	D#4	59	B 2	47	B 1	ライドシンバル 2
E4		60	C 3	48	C 2	ボンゴ H
F4	F#4	61	C# 3	49	C# 2	ボンゴ L
G4	G#4	62	D 3	50	D 2	コンガ H ミュート
A4	A#4	63	D# 3	51	D# 2	コンガ H オープン
B4		64	E 3	52	E 2	コンガ L
C5	C#5	65	F 3	53	F 2	ティンパレス H
D5	D#5	66	F# 3	54	F# 2	ティンパレス L
E5		67	G 3	55	G 2	アゴゴ H
F5	F#5	68	G# 3	56	G# 2	アゴゴ L
G5	G#5	69	A 3	57	A 2	
A5	A#5	70	A# 3	58	A# 2	
B5		71	B 3	59	B 2	
C6		72	C 4	60	C 3	
		73	C# 4	61	C# 3	ギロショート
		74	D 4	62	D 3	ギロロング
		75	D# 4	63	D# 3	クラベス
		76	E 4	64	E 3	
		77	F 4	65	F 3	
		78	F# 4	66	F# 3	
		79	G 4	67	G 3	
		80	G# 4	68	G# 3	2 トライアングルミュート
		81	A 4	69	A 3	2 トライアングルオープン
		82	A# 4	70	A# 3	シェイカー
		83	B 4	71	B 3	
		84	C 5	72	C 4	ベルツリー
		85	C# 5	73	C# 4	エレクトロニックバスドラム A
		86	D 5	74	D 4	エレクトロニックバスドラム B
		87	D# 5	75	D# 4	エレクトロニックバスドラム C
		88	E 5	76	E 4	エレクトロニックスネアドラム A
		89	F 5	77	F 4	エレクトロニックスネアドラム B
		90	F# 5	78	F# 4	エレクトロニックリムショット
		91	G 5	79	G 4	リバーシバルス
		92	G# 5	80	G# 4	ハンドクラップ
		93	A 5	81	A 4	オーケストラヒット
		94	A# 5	82	A# 4	スクラッチ 1
		95	B 5	83	B 4	スクラッチ 2
		96	C 6	84	C 5	スクラッチ 3



伴奏リスト / マルチパッドリスト

[伴奏リスト]

No.	伴奏名	No.	伴奏名	No.	伴奏名	No.	伴奏名
8ビート		DJ		50	ビッグバンドバラード	75	マンボ
1	8ビートポップ	26	ユーロテクノ	51	ジャズカルテット	76	ビギン
2	8ビートアップテンポ	27	ファンキートリップホップ	52	デキシーランド	77	メレンゲ
3	8ビートスタンダード	28	ポップレゲエ	カントリー&ウエスタン		78	ボレロレント
4	8ビートシャッフル	29	アシッドハウス	53	ブルーグラス	カリビアン	
5	フォークロック	30	シェイキン	54	2/4カントリー	79	レゲエ 1
6	ポップロック	ロック		55	カントリーバラード	80	レゲエ 2
7	クリスタルポップ	31	8ビートロックバラード	56	カントリーシャッフル	ピアニスト	
8	8ビートミディアム	32	16ビートロックバラード	ボールルーム		81	2ビート
16ビート		33	ハードロック	57	ルンバ	82	ストライド
9	16ビートシャッフル	34	ロックシャッフル	58	タンゴコンチネンタル	83	コンチェルト
10	16ビートポップ	35	6/8ヘビーロック	59	ジャイブ	84	8ビート
バラード		36	USロック	マーチ&ワルツ		85	ホンキートンク
11	8ビートバラード	ロックンロール		60	マーチ	86	ピアノバラード
12	エピックバラード	37	ロックンロール	61	6/8マーチ	87	ポップバラード
13	ピアノバラード	38	ブギ	62	ライトマーチ	88	アルペジオ 1
14	ソウルバラード	39	ツイスト	63	クリスタルマーチ	89	アルペジオ 2
15	スローロック	リズム&ブルース		64	ボルカ	90	ダンスポップ
16	6/8バラード	40	リズム&ブルース	65	スタンダードワルツ	91	ロックンロール
17	ハープアルペジオ 1	41	ファンク	66	ジャーマンワルツ	92	タイトロック
18	ハープアルペジオ 2	42	ソウル	67	ウィンナワルツ	93	スイング
19	ハープアルペジオ 3	43	ゴスペルシャッフル	68	クリスタルワルツ	94	ジャズワルツ
20	オルゴール	44	6/8ゴスペル	69	オーケストラワルツ 1	95	ラグタイム
ダンス		45	4/4ブルース	70	オーケストラワルツ 2	96	ビギン
21	ダンスポップ	ジャズ		71	オルゴールワルツ	97	チャチャチャ
22	テクノ	46	ジャズバラード	ラテン		98	マーチ
23	ユーロビート	47	ジャズワルツ	72	ボサノバ	99	6/8マーチ
24	ヒップポップ	48	フュージョン	73	サルサ	100	ギャロップ
25	'70ディスコ	49	ビッグバンドスイング	74	サンバ		

[マルチパッドリスト]

バンクNo.	バンク名
1	ピアニスト
2	トゥインクル
3	オルガンプレイ
4	ギタープレイ
5	パーカッション
6	ドラムス
7	DJドラムス
8	DJ
9	テクノ
10	1234



故障かな？と思ったら

現象	原因	解決方法
[STANDBY/ON]スイッチをオンにしたときに、ポツンという音がある。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
音が歪んだり、リズムが止まったりする。パネルの設定が、電源を入れたときの状態に戻る。	電池が消耗しています。	電池を交換してください。
PSR-170から雑音が出る。	PSR-170の近くで携帯電話を使っているためです。 (または呼び出し音が鳴っています)	PSR-170の近くでは携帯電話の電源を切ってください。PSR-170の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
音が出ない。	PHONES/OUTPUT端子に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されています。	ヘッドフォン(プラグ)を抜いてください。
伴奏で[START/STOP]ボタンを押してもリズム音が鳴らない。	伴奏に伴奏ナンバー 081 ~ 100(伴奏カテゴリー：ピアニスト)が選ばれています。	故障ではありません。伴奏ナンバー 081 ~ 100が選ばれている場合は、ピアノだけの伴奏が鳴ります。
同時に鍵盤やマルチパッドを押さえても、鳴らない音がある。	発音数には制限があります。	PSR-170の最大同時発音数は16です。自動伴奏やソングの演奏なども含めて最大16音の範囲で鳴らすことができます。 (25ページ参照)
押さえる鍵盤によって音質や音量が異なる。	音色によっては、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵域をいくつかに分けて楽器音をサンプリングする「マルチサンプリング」という方法で作られたものがあります。それらの音色は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。	故障ではありません。
右手側の鍵盤を弾いたとき、音が鳴らない。	ディクショナリー機能が働いています。	故障ではありません。ディクショナリーを「オフ」にしてください。
ソングが途中で止まる。	ウェイティング機能が働いています。	ウェイティングを「オフ」にしてください。 (37ページ参照)
ソングのメロディが聞こえない。	マイナスイオン機能が働いています。	マイナスイオンを「オフ」にしてください。 (37ページ参照)
伴奏鍵域で押さえた鍵盤と、ディスプレイに表示される鍵盤が合わない。	ディスプレイには、認識されたコードの決められた構成音が表示されます。	故障ではありません。認識されたコードは、常にフィンガードの押さえ方で表示されます。 (46ページ参照)
フットスイッチ(サステイン)のオン/オフが逆になった。	フットスイッチを踏みながら電源を入れたためです。	電源を切りフットスイッチを踏まないで電源を入れてください。
[ACMP ON/OFF]ボタンを押しても、伴奏がオンにならない。	スタイルモードになっていません。	[STYLE]ボタンを押してスタイルモードにします。
MIDIの送受信ができない。	ソングモードになっています。	ソングモードでは送受信できません。 [STYLE]ボタンを押して、ソングモードから抜けてください。



オプション(別売)商品のご案内

ヘッドフォン	HPE-150	¥4,000	MIDIケーブル	MIDI-03(3m)	¥1,100
	HPE-30	¥3,000	ソフトケース	SCC-32	¥6,000
電源アダプター	PA-3B	¥2,000		SCC-36	¥8,000
	PA-3C	¥2,000			
キーボードスタンド	L-2L	¥4,000			
	L-2C	¥6,000			
フットスイッチ	FC4	¥3,000			
	FC5	¥1,500			

商品の金額には、消費税は含まれておりません。



MIDIインプリメンテーションチャート

YAMAHA ポータブルキーボード
Model : PSR-170

MIDIインプリメンテーションチャート

Date : 2001.1.26
Version : 1.0

ファンクション	送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	1 ~ 7, 10 x	1 ~ 7, 10 x	
モード	3 x *****	3 x x	
電源ON メッセージ 代用	3 x *****	3 x x	
ノート ナンバー	0 ~ 127 *****	0 ~ 127 0 ~ 127	
ベロシティ ノートオン ノートオフ	9nH, v=1-127 x 9nH, v=0	9nH, v=1-127 x 9nH, v=0 or 8nH	
アフター タッチ	x x	x x	
ピッチベンダー	x	x	
コントロール チェンジ	0, 32 7 10 6, 38 64 71 ~ 74 84 91, 93, 94 96, 97 98, 99 100, 101	2 x x x x x x x x	バンクセレクトLSB, MSB ポリューム パン データエントリー サステイン ポルタメント コントローラー RPN データ インクリメント NRPN LSB, MSB RPN LSB, MSB

プログラム チェンジ	設定可能範囲	0 ~ 127 *****	3	0 ~ 127	3	3
エクスクループ			4		4	
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	x x x		x x x		
リアル	クロック コマンド	x x		x x		
その他	オールサウンドオフ リセットオールコントロール ローカルON/OFF オールノートオフ アクティバセンス リセット	x x x x x		x x x x x		

o: あり
x: なし

モード1: オムニオン、ポリ
モード3: オムニオフ、ポリ
モード2: オムニオン、モノ
モード4: オムニオフ、モノ

- 送信するベロシティの値(音量の値)は、選択されている楽器によって異なります。
- バンクセレクト
 - MSB はメロディ音色 / リズム音色の切り替えに使用します。
MSB = 00H : メロディ音色
MSB = 7FH : リズム音色
 - LSBは楽器リストを参考にしてください。
- プログラムチェンジ
 - プログラムチェンジを受信しても、本体パネルで選ばれている音色(LCD表示も)は変わりません。
 - プログラムチェンジの値は楽器リストを参考にしてください。
- エクスクループ
 - <GMシステムオン>
F0H, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H
 - すべてのデータの設定値を初期設定値に戻します。
- MIDIはSongモードでは機能しません。



仕様一覧

鍵盤

レギュラーサイズ61鍵(C1～C6)

ディスプレイ

大型液晶ディスプレイ

セットアップ

STANDBY/ONスイッチ

MASTER VOLUMEコントロール：MIN～MAX

コントロール

OVERALLボタン、SONGボタン、VOICEボタン、
STYLEボタン、DEMOボタン、
PORTABLE GRANDボタン、DJボタン、
METRONOMEボタン、Dict.ボタン、
LESSON [L]/[R]ボタン、TEMPO/TAPボタン、
数字ボタン[0]～[9]、[+], [-]

楽器

楽器100音色(最大同時発音数16)

エフェクト

デュアル(音色内に内蔵)

ハーモニー/エコー(音色内に内蔵)

スプリット(音色内に内蔵)

サステイン(音色内に内蔵)

自動伴奏

100伴奏

マルチフィンガリング

セクション：

イントロ、メインA/B、エンディング、フィルイン

全体設定

マルチパッド

採点 オン/オフ

音声ガイド オン/オフ

トランスポーズ

チューニング

伴奏/ソング音量

メトロノーム音量

伴奏コントロール

伴奏オン/オフ、シンクロスタート、スタート/ストップ、
イントロ/エンディング、メイン A/B(オートフィル)

ソングコントロール

A-Bリピート、一時停止、スタート/ストップ、
巻き戻し、早送り

ワンタッチセッティング

楽器(各伴奏、またはソング)

マルチパッド

4種類×10バンク

YES(レッスン機能)

ディクショナリー

レッスン1～4

ソング

ソング100曲

アンプ実用最大出力

電源アダプター PA-3B 使用時：2W + 2W(EIAJ)

MIDI

イン/アウト

付属端子

MIDI IN/OUT、SUSTAIN、PHONES/OUTPUT、
DC IN 12V

スピーカー

12cm × 2

電源

アダプター：PA-3BまたはPA-3C

電池：単1乾電池(1.5V) × 6

電池寿命

マンガン電池で約34時間

(デモ演奏連続使用：MASTER VOLUMEコントロール
の位置 = 最大の70%)

消費電力

電源アダプター PA-3B 使用時：10W

寸法(幅 × 奥 × 高 mm)

931 × 348.8 × 127.9

質量(kg)乾電池含まず

4.4

付属品

譜面立て、取扱説明書、ソングブック、保証書

仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。



インデックス

A		イ		タ	
A-B REPEAT	35	一時停止	34	タイミング	38
ACMP	44	イントロ	50	チ	
ACMP ON/OFF	44	イントロシンクスタート	45	チューニング	30
AUTO FILL	51	ウ		テ	
D		ウェイティング	39	ディクショナリー	47
DC IN 12V	8	エ		デモ	31
DEMO	31	演奏の準備	8	電源アダプター	8
Dict.	47	エンディング	45	電源を入れる	20
DJ	26	オ		テンポ	33
DJ GAME	26	オプション商品	59	ト	
DJセット	27	音声ガイド	42	ドラムキット	27
E		音符表示	22	トランスポーズ	29
ENDING	45	音量の調節	20	ハ	
F		カ		早送り	34
FF	34	外部出力端子	9	伴奏	43
I		各部の名称	10	伴奏音量	49
INTRO	50	楽器	25	伴奏鍵域	46
L		楽器ナンバー	25	伴奏パターンの切り替え	50
LESSON	37	乾電池	8	ヒ	
M		ク		ビート表示	22
MAIN	51	グランドピアノ	23	拍子(メトロノーム)	24
MASTER VOLUME	20	くり返し練習	35	フ	
METRONOME	23	ケ		フィルイン	51
MIDI	53	鍵盤表示	22	フィンガード	46
MIDIインプリメンテーション		コ		フットスイッチ	9
チャート	60	コード表示	22	譜面立て	9
MIDI端子	53	コード(和音)	48	プログラムチェンジナンバー	54
MULTI PAD	52	故障かな?と思ったら	59	ヘ	
O		サ		ヘッドフォン	9
OVERALL	20	最大同時発音数	25	ホ	
P		採点	41	ボースハンド	40
PAUSE	34	サステイン端子	9	保証とアフターサービス	64
PHONES/OUTPUT	9	シ		マ	
PORTABLE GRAND	23	仕様	62	マイナスイオン	40
R		小節表示	22	巻き戻し	34
REW	34	シングルフィンガー	46	マルチパッド	52
S		シンクロスタート	44	マルチパッドバンク	58
SONG	31	ス		マルチフィンガリング	46
STANDBY	20	数字ボタン	21	メ	
START/STOP	44, 45	スタート	34	メインA/B	51
STYLE	43	ストップ	34	メトロノーム	23
SUSTAIN	9	セ		メトロノーム音量	24
SYNC START	44	全体設定	20	メロディ音色の変更	32
T		ソ		リ	
TAP	33	ソング	31	リタルダンド	45
TEMPO	33	ソング音量	34	ル	
V		ソングコントロール	34	ルート音(ディクショナリー)	47
VOICE	25	ソングレッスン	36	ワ	
				ワンタッチセッティング	28

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間です。

保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター 3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1番1号 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F	TEL (03) 5762-2121
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター 3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL (087) 822-3045
広島サービスステーション	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL (082) 874-3787
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-1-1-4	TEL (092) 472-2134
[本社] CSセンター	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	TEL (053) 465-1158

ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

ポータブル楽器 インフォメーションセンター 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL. 053-460-5272
受付日 月曜日～金曜日(祝日およびセンターの休業日を除く) 受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00

EM営業統括部

営業推進課	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-5476
北海道営業所	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6113
仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10	TEL (022) 222-6147
名古屋営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	TEL (052) 201-5199
大阪営業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館	TEL (06) 6252-5231
九州営業所	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-1-1-4	TEL (092) 472-2130

PA・DMI事業部

EKB営業部 国内営業課	〒430-8650	静岡県浜松市中沢町10-1	TEL (053) 460-3275
--------------	-----------	---------------	--------------------

住所および電話番号は変更になる場合があります。

インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

- ・ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>
- ・PK CLUB(ポータブル楽器ホームページ) <http://www.yamaha.co.jp/product/pk/index.html>
- ・ヤマハマニュアルライブラリー <http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>
- ・「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」
ミュージックイークラブ・ドットコム <http://www.music-eclub.com>